

GLORY

RT/RAD-380

硬貨つり銭機 / 紙幣つり銭機

取扱説明書



安全にお使い
いただくために

各部の名称と機能

お使いになる前に

日常の操作

日常のお手入れ

困ったときは！

その他

■ はじめに

このたびは、グローリー製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、製品の操作方法および使用上の注意事項を記載しております。
本書をお読みいただき、安全遵守事項、製品の性能、操作方法を十分にご理解のうえ、ご使用ください。また、お読みになった後も、お手元に置いてご確認ください。
本書を紛失、または汚損して確認できなくなったときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店でお求めください。

■ ご注意

この製品は、レジ業務の効率化を目的に開発されております。
他の目的で当社の許可なく使用したり、当社または当社委託の業者以外で改造し、使用した場合の損害については、その責任を負いかねます。
この製品の設置および移設に関しては、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご相談ください。

この装置は、商工業地域において使用されるべき情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- この製品は、仕様に定められた流通通貨用に製造しております。
この製品を他の目的に使用しないでください。
- この製品は、日本国内で使用することを目的に製造しております。
その他の国では、電源仕様、安全規制が異なるため使用できません。
- 本書の記載事項は、事前通知なしに変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、常に製品の改善のために努力しています。したがって、実際の製品と本書とは多少の相違が生じることがあります。
- 本書のデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利での損害については、その責任を負いかねます。
- 通貨の変形・破損・変質・盗難に伴う損害、および偽造・変造貨、破壊などの犯罪行為の補償は、一切行いません。
- 営利目的での本書の無断転載を禁止します。

安全にお使いいただくために

警告図記号と記載事項	1
ご使用前の安全遵守事項	2
警告図記号のラベルについて	8
製品の長期使用における経年変化について	10

各部の名称と機能

外 観	11
内 部	13
表示部	17
鍵の種類	21

お使いになる前に

設置するにあたって	25
設置スペース	26
使用するお金について	28

日常の操作

日常の操作の流れ	31
装置内部の引き出しかた	33
装置内部の閉じかた	34
収納部扉の開閉のしかた	35
カセットの抜き取りかた	37
カセットの開きかた・閉じかた	38

安全にお使い
いただくために

各部の
名称と機能

お使いに
なる前に

日常の操作

日常のお手入れ

困ったときは！

その他

安全にお使い
いただくために

各部の
名称と機能

お使いに
なる前に

日常の操作

日常のお手入れ

困ったときは！

その他

リジェクト部の開きかた	39
払い出し部の開きかた	40
電源の入／切のしかた	41
つり銭の補充のしかた（つり銭機モード）	42
つり銭の補充のしかた（預かり金計数モード）（現金管理機モード）	43
つり銭の払い出しかた	45
預かり金の計数のしかた	46
両替・逆両替のしかた	49
払い出しのしかた	52
在高確認のしかた	55
回収のしかた	57
履歴の参照のしかた	66
運用設定画面への切り替えかた	71
運用設定画面の構成	72
残置設定のしかた	73
収納庫運用設定のしかた	74
回収運用設定のしかた	77
補充運用設定のしかた	89
出金運用設定のしかた	92
両替運用設定のしかた	95
ボタン設定のしかた	98
画面・ブザー設定のしかた①	102
その他の設定のしかた	105
運用モード設定のしかた	108
画面・ブザー設定のしかた②	111
在高不確定状態の確認のしかた	116
在高不確定状態の解除のしかた	117
交代データの確認のしかた	120
縮めのしかた	122

日常のお手入れ

各部の清掃	125
センサー配置図 /RT-380	135
センサー配置図 /RAD-380	137

困ったときは！

エラーが発生したら	139
紙幣が詰まったときは	145
紙片や異物などが取れないときは	152
詰まった紙幣の取り扱いについて	155
収納庫出口付近の硬貨の取り除きかた	156
RT-380 で E43 エラーが発生したときは	158

その他

製品仕様 /RT-380	159
製品仕様 /RAD-380	160
付属品一覧	161
廃棄についてのお願い	162

安全にお使い
いただくために

各部の
名称と機能

お使いに
なる前に

日常の操作

日常のお手入れ

困ったときは！

その他

安全にお使いいただくために

ここでは、お買い上げの製品を安全にお使いいただくため、製品があなたや他の人々に与える身体や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守っていただくべき事項が記載されています。ご使用前に、この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

警告図記号と記載事項

各図記号は、以下のような意味を表しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみが想定される内容を示しています。



この記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



この記号は、してはいけない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対にしないでください。



この記号は、必ずしていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



ご使用前の安全遵守事項



警告

／ 設置について



製品の設置・移設の際は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

設置が不完全なときは、転倒事故、感電、火災、やけどの恐れがあります。



製品の設置・移設の際は、固定金具あるいは転倒防止用器具が正しく付いているか確認してください。

不安定な設置は、事故の原因になることがあります。



設置、ご使用の際は、扉、カバーの開閉、および操作が十分可能な空間をお取りください。

操作中に製品の一部分が身体に当たると、事故の原因になることがあります。



次のような場所に設置する場合は、道路法や道路交通法、消防法などに適合しなければなりません。適合条件が不明なときは、所轄官庁へご相談ください。

- 交通や防災の妨げとなる場所
 - 消防設備の周辺
 - 道路標識、信号機の近く
 - 可燃物や可燃ガスを扱う場所（ガソリンスタンド）など
 - 避難用の通路および施設
- 違法な設置は、事故の恐れがあります。



製品に水がかかる恐れのある場所へは、設置しないでください。

水が製品内部に入ると、絶縁が悪くなり、火災、感電の原因になることがあります。



設置床面が製品の荷重に耐えられない場所や、傾きおよび凹凸で不安定な場所に設置しないでください。

床面の陥没事故および製品が不意に動いて、事故の原因になることがあります。



取扱説明書などに記載の設置スペースを確保するとともに、通風口をふさがないでください。また、電源プラグ・コードにストレスが加わらないように設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源プラグ・コードに継続的なストレスが加わると、感電や発煙の原因になることがあります。



設置場所によっては、漏電遮断器の取り付けが電気事業法で義務付けられています。

違法な設置は、事故の原因になることがあります。



JIS基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。

不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、やけどの恐れがあります。



警告

／ 設置について



安全、および静電気やノイズ障害を防止するため、必ずアース工事（D種接地）を実施してください。また、アース線は、他の製品と共有せずに必ず単独で施設してください。

アース工事は、必ず最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

アースが不完全、または接続されていないときに、万一漏電した場合は、火災、感電の原因になることがあります。

アース線が取り付けられる所

- 電源コンセントのアース端子。
- 銅片などを 65 cm以上、地中に埋めたもの。
- 接地工事（D種）が行われている接地端子。

アース線を取り付けてはいけない所

- ガス管
- 電話専用線
- 避雷針
- 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口



製品の周辺および内部で、シンナーなどの可燃物や可燃性ガス、揮発性の高い物を使用したり、置いたりしないでください。

製品からの発熱や電源からの引火により、爆発、火災の原因になることがあります。



次のような場所への設置は避けてください。

安全上で問題があり、また製品の老朽化を早め、故障の原因になることがあります。

- 揮発性可燃物やカーテンから 1m 以内。
- ストープ、ヒーターなどの発熱器具から 1m 以内。
- エアコン、換気口などの風が直接当たる場所。
- 高温、多湿、低温の場所。
- 直射日光が当たる場所。
- ホコリの多い場所。
- IH 調理器具、電話機などの電波を発する器具から 20cm 以内。
- 油分の多い場所。
- 酸性・アルカリ性の揮発性ガスにさらされる場所。

また、次のような場所へ設置するときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

- 潮風や腐食ガスにさらされる場所。
- 揺れや振動の多い場所。



警告

／ 電源について



製品を使用するときは、取扱説明書の仕様に定められた電源に接続してください。

製品仕様以外の電源に接続すると、火災、感電、漏電の原因になることがあります。



延長コードの使用やタコ足配線をしてください。

必ず、専用のコンセントを使用してください。コードが過熱して、火災の原因になることがあります。



漏電ブレーカーが頻繁に作動するときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。そのまま使用したり、放置すると、火災、感電の原因になることがあります。



電源プラグの刃の部分は、確実にコンセントに差し込んでください。

差し込み不良は、火災の原因になることがあります。



電源コード、プラグを改造、加工、または修復しないでください。また、3極の電源プラグを2極に変換しないでください。

アースが不完全になり、感電の恐れがあります。



電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のことを守ってください。

- 電源プラグを抜くときは、コード部分を引っ張らない。
- コード部分に物をのせない。
- 熱源の近くを通さない。
- 折り曲げない。はさまない。
- 踏まない。ねじらない。
- 薬品類をかけない。
- 束ねたまま使用しない。
- ステープラーなどで固定しない。



付属以外の電源コード、プラグは、使用しないでください。

電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因になることがあります。



電源コード、プラグは、他の製品や用途に使用しないでください。また、紛失、損傷したときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店でお買い求めください。

付属の電源コード、プラグは、本製品に接続して使用することを目的に設計し、その安全性を確認しています。

他の製品や用途に使用すると、火災、感電の原因になることがあります。



製品は指定された周波数で使用してください。

指定外の周波数で使用すると、事故の原因になることがあります。

警告

／ 取り扱いについて



製品は取扱説明書の仕様に記載された環境下でご使用ください。仕様環境以外でご使用になると、火災、感電の恐れがあります。



製品の作動中に、電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、製品の扉などを開いたりしないでください。事故の原因になることがあります。



製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。



清掃や部品交換など、製品内部に触れるときは、必ず電源を切ってください。電源が入った状態で作業すると、感電、ケガの原因になることがあります。



製品を改造したり、部品を変更して製品に取り付けしないでください。また、取扱説明書に開閉指示のない箇所およびネジなどで固定しているカバー、部品などを取り外さないでください。火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品の可動部で手が触れる所は、作動中に手、髪の毛、衣服などを近づけないでください。ケガの原因になることがあります。



設計上の標準使用期間を超えてご使用されますと、経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になる恐れがあります。



濡れた手で、製品および電源プラグ、電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。



製品の上に物や水の入った花瓶、コップなどを置かないでください。水がこぼれたり落下することにより、火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品内部の電気部品は、雨水や清掃時の水などで濡れないようにしてください。水で濡れると、感電、故障の原因になることがあります。



製品が冷えきっているとき、急に暖房を入れないでください。急な暖房により製品内部に水分が付着し、感電の原因になることがあります。



製品内部、スキマにクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。製品内部に金属片が落下して電気回路に接触すると、火災の原因になることがあります。



長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ホコリがたまって発熱、発火の原因になることがあります。

注意

／ 取り扱いについて



製品内部の開閉または出し入れするときは、製品に貼り付けてあるラベルおよび取扱説明書の指示に従ってください。

誤った操作は、ケガをする恐れがあります。



エラー解除や清掃など製品内部を操作するときは、取扱説明書の記載内容に従って操作してください。

記載内容以外の操作をすると、事故の原因になることがあります。



製品に衝撃を与えないでください。

製品が破損し、正常に作動しなくなる恐れがあります。



製品の汚れを取るときは、家庭用洗剤やシンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

破損の原因になることがあります。



この製品は、作動中にカバー、扉を開くと安全スイッチが入り、製品を停止します。その状態で安全スイッチに触れないでください。

安全スイッチが切れると、突然製品が作動して身体の一部をはさんだり、製品の一部が当たり、ケガをする恐れがあります。



調味料（お酢・しょう油）などを製品に付着させないでください。

破損の原因になることがあります。



製品内部を閉めるときは、指をはさまないように注意してください。

ケガの原因になることがあります。



引出部に他の物をのせたり、寄りかかったりしないでください。

事故の原因になることがあります。



製品の管理時は、必ず施錠してください。

施錠しないと、事故の原因になることがあります。



取扱説明書に記載の物以外は、製品に収納しないでください。

事故の原因になることがあります。



ギアなどに触れないでください。

ケガの原因になることがあります。



付属以外の通信ケーブルは使用しないでください。

付属以外のものを使用すると、通信異常または故障の原因になることがあります。



警告

／ 保守・点検について



製品の修理は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

修理に不備があると、火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品から発煙したり異常な臭い、音がするときは、ただちに使用を中止して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

そのまま使用したり、放置すると、火災、感電の原因になることがあります。



製品が災害などで水没したときは、使用を中止し、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に修理、点検を依頼してください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因になることがあります。



電源プラグおよび電源コードは、定期的に点検、清掃してください。電源プラグが壊れていたり、電源コードが破れているときは使用を中止し、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡して交換してください。

火災、感電の原因になることがあります。



設置場所が不安定になっていないか、定期的に点検してください。異常がある場合は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

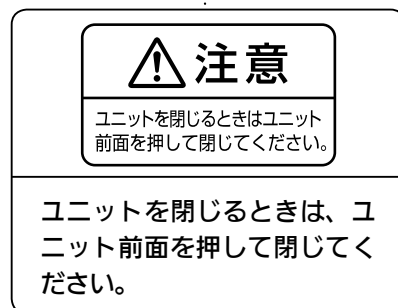
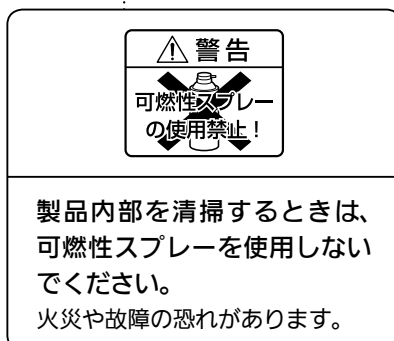
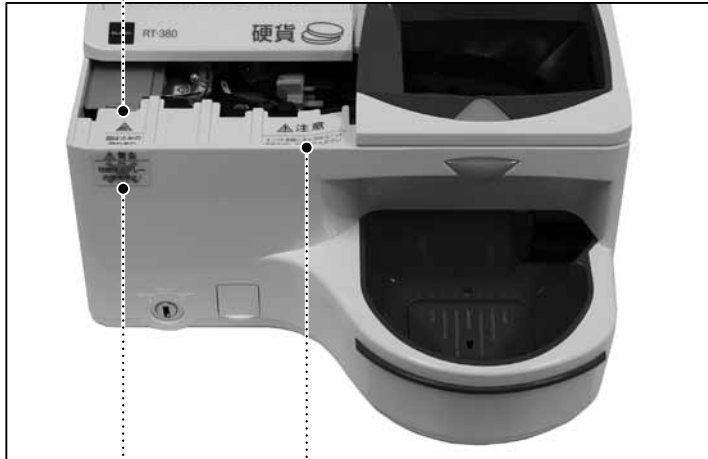
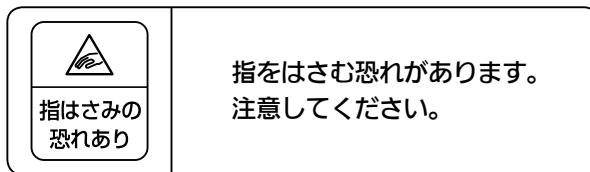
不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になることがあります。

警告図記号のラベルについて

警告図記号のラベルとは、製品に貼り付けてある **警告** **注意** のシールのことです。
このシールが貼ってある所は危険性があります。
説明内容を十分守り、注意して製品をご使用ください。

なお、シールが読みにくい場合やはがれそうな場合は交換してください。交換するときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

RT-380



⚠ 注意 指はさみの恐れあり

指をはさむ恐れがあります。
注意してください。

RAD-380



⚠ 注意

ユニットを閉じるときは、
ユニット前面を押して閉じ
てください。

ユニットを閉じるときはユニット
前面を押して閉じてください。

製品の長期使用における経年変化について

経年変化により、危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために、表示を本体に貼り付けています。

以下の内容を十分にご理解のうえ、ご使用ください。

設計上の標準使用期間を超えてご使用されますと、経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になるおそれがあります

「標準使用期間」について

- 利用時間や温度・湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年変化に対して、販売した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、標準使用期間の間の無故障を保証するものでもありません。適切な保守や修理、日常点検の実施を含めて作動を保証するものです。

標準使用条件

分類	項目	条件
環境条件	温度	0℃～35℃
	湿度	20%～90%（ただし、結露しないこと）
	電圧／周波数	単相 100V 周波数：50/60Hz
使用条件	1日の通電時間	24時間
	1日の利用量	紙幣：1500枚、硬貨：4500枚（入出金の合計）
	1年間の利用日数	365日
	標準使用期間	5年

※設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合は、標準使用期間より短い期間で経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になる恐れがあります。

安全にお使い
いただくために

製品の長期使用における経年変化について

各部の名称と機能

外 観

■ RT-380

表示部

各種表示およびボタンを配置している所です。



表示部液晶画面は精密な部品であるため、画素欠けや常時点灯するものがあります。また、事前通知なしに明るさや色合いが変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

投入口ランプ

硬貨投入状態を表示します。
青：入金待ち
赤：投入硬貨あり／エラー

硬貨投入口

硬貨を投入する所です。
容量：約 50 枚
(100 円換算)

モード切り替え錠

操作目的（運用・管理・保守）を付属の鍵で選択する錠です。

電源スイッチ

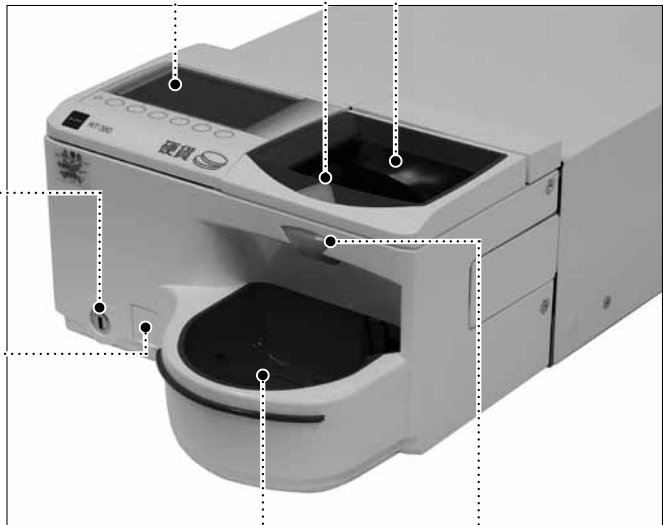
電源を入／切するスイッチです。
※電源スイッチを操作する際は、電源スイッチカバーを開いてください。

払い出し口

硬貨を払い出す所です。
リジェクト硬貨（傷み・汚れ・変形などにより金種が識別できない硬貨）を返却する所です。
容量：約 50 枚
(100 円換算)

払い出し口ランプ

硬貨出金状態を表示します。
青：正常動作
赤：リジェクト、エラー

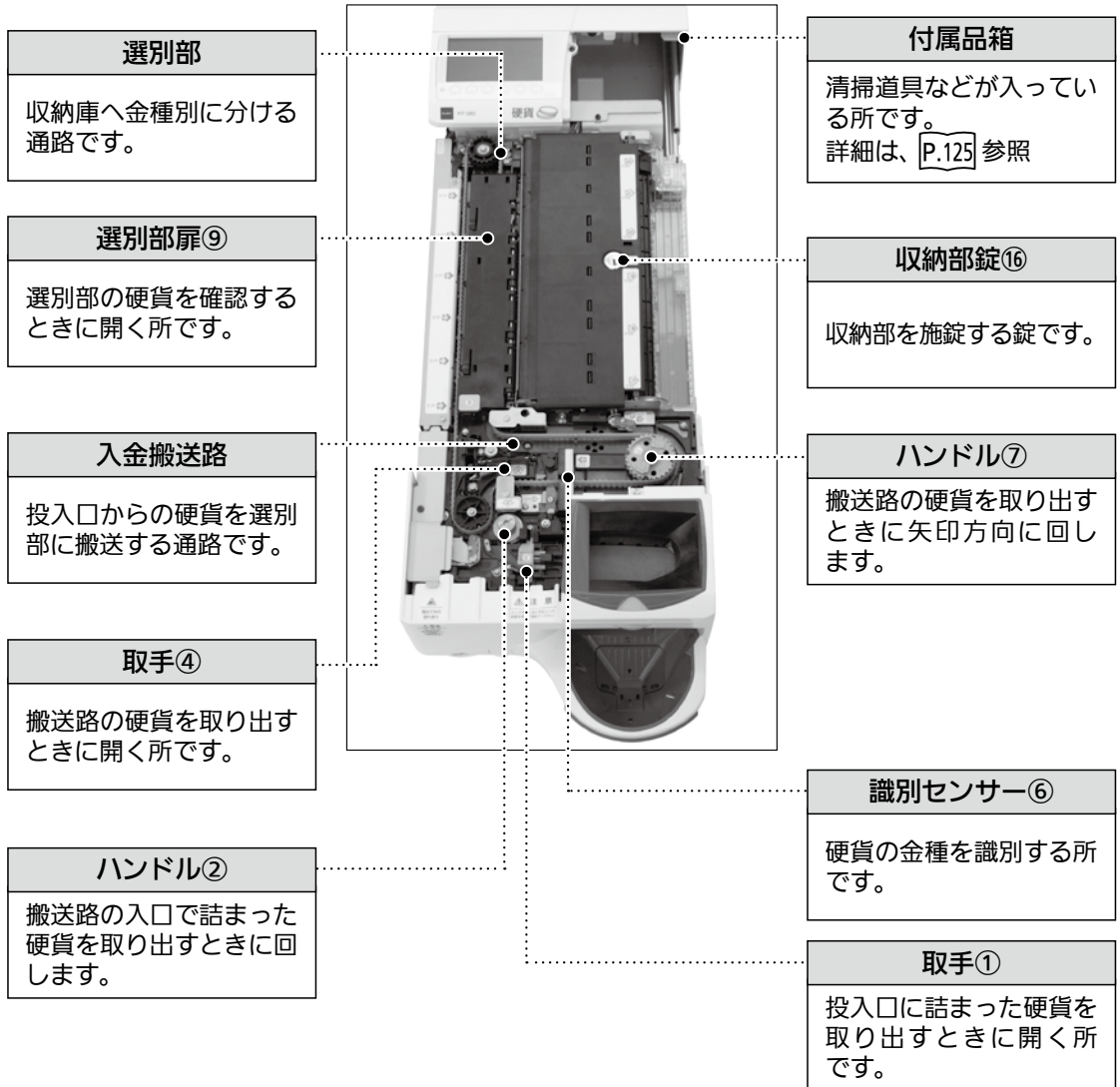


■ RAD-380



内 部

■ RT-380 装置内部を引き出した所（上面）



選別部
収納庫へ金種別に分ける通路です。

選別部扉⑨
選別部の硬貨を確認するときを開く所です。

入金搬送路
投入口からの硬貨を選別部に搬送する通路です。

取手④
搬送路の硬貨を取り出すときを開く所です。

ハンドル②
搬送路の入口で詰まった硬貨を取り出すときに回します。


付属品箱
清掃道具などが入っている所です。
詳細は、[P.125](#) 参照

収納部錠⑱
収納部を施錠する錠です。

ハンドル⑦
搬送路の硬貨を取り出すときに矢印方向に回します。

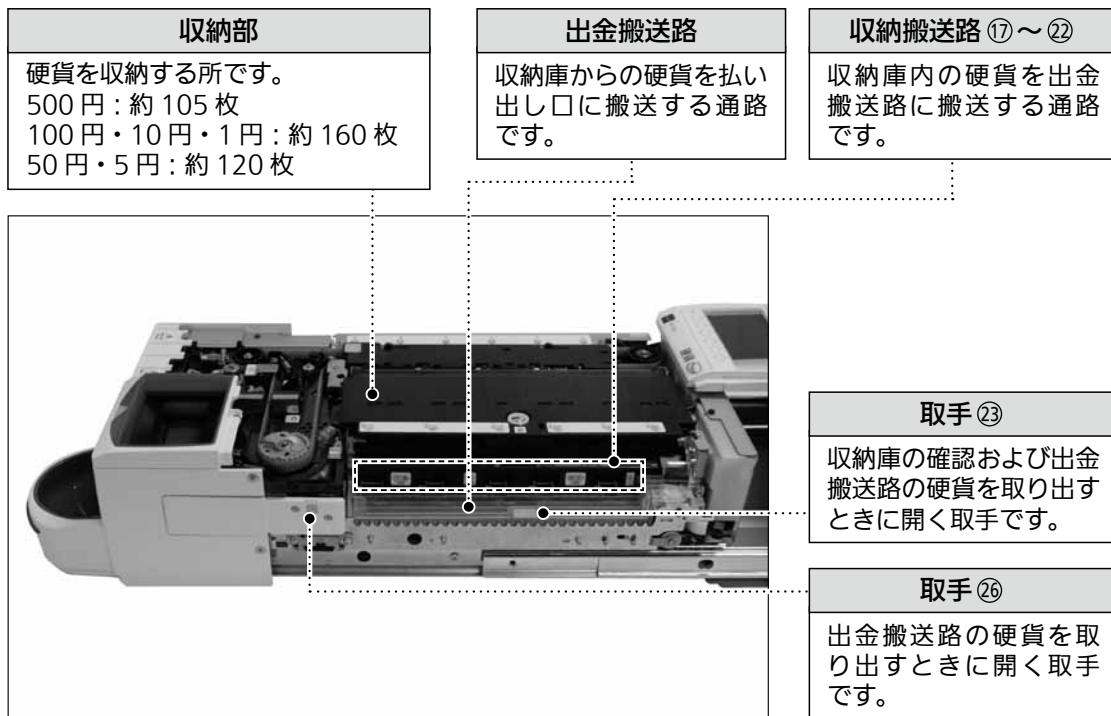
識別センサー⑥
硬貨の金種を識別する所です。

取手①
投入口に詰まった硬貨を取り出すときを開く所です。

 **参考**
○内の番号は、RT-380 表示部で表記される数字です。
その場所にはシールが貼られています。

各部の
名称と機能
内
部


装置内部を引き出した所（右側面）



ハンドル⑳

出金搬送路の硬貨を取り出すときに矢印方向に回します。

番号シール一覧					
番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	取手	⑪	PSC11	⑳	通路（5円）
②	ハンドル	⑫	PSC12	㉑	通路（1円）
③	PSC4	⑬	PSC13	㉒	取手
④	取手	⑭	PSC14	㉓	PSC34
⑤	PSC5	⑮	PSC15	㉔	レバー
⑥	識別センサー	⑯	収納部錠	㉕	取手
⑦	ハンドル	⑰	通路（500円）	㉖	ハンドル
⑧	PSC9	⑱	通路（100円）	㉗	PSC24
⑨	選別部扉	㉑	通路（50円）		
⑩	PSC10	㉒	通路（10円）		

 **参照**

③、⑤、⑧、⑩～⑮、㉓、㉔の場所については、「センサー配置図」P.135を参照してください。

■ RAD-380



○内の番号は、RT-380 表示部で表記される数字です。
その場所にはシールが貼られています。

収納部錠⑰

収納部扉を開く錠です。

収納部扉

収納部

紙幣を収納する所です。

収納庫 1 ⑲

千円紙幣を収納します。
(収納容量：約 200 枚)

収納庫 2 ⑳

5 千円紙幣を収納します。
(収納容量：約 100 枚)

収納庫 3 ㉑

万円紙幣を収納します。
(収納容量：約 100 枚)

ハンドル取り付け部⑱

取り外しガイド

搬送路のガイドです。エラー解除などで取り外したときは、元に戻してください。

取り外しガイドレバー⑫

ハンドル (緑色)

搬送路を手動で回す緑色のハンドルです。使用後は、元に戻してください。

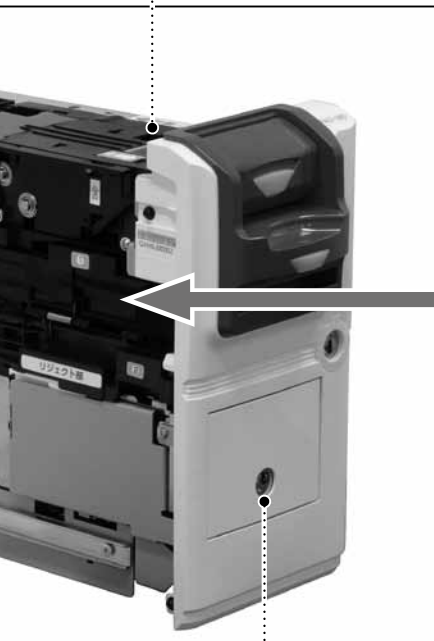
ハンドル取り付け部⑬

搬送部

搬送カバー

搬送路へゴミ、硬貨などが入り込むのを防ぐカバーです。

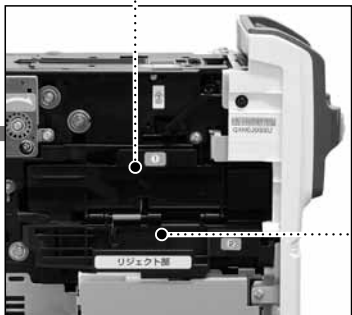
ハンドル取り付け部⑥



搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦
搬送路を確認するときに開く扉です。

繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）③
挿入口を確認するときに開く扉です。


払い出し部①
払い出し口に払い出す前に収納する所です。
(収納容量：約 10 枚)



リジェクト部②
リジェクト紙幣を収納する所です。
(収納容量：約 20 枚)

カセット錠
カセットを開閉する錠です。

番号シール一覧					
番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	払い出し部	⑧	PSB3	⑮	PSB5
②	リジェクト部	⑨	PSB9	⑯	PSB4
③	繰り出し開閉レバー	⑩	PSB8	⑰	収納部錠
④	PSB1B	⑪	PSB7	⑱	ハンドル取り付け部⑱
⑤	PSB2	⑫	取り外しガイドレバー	⑲	収納庫 1
⑥	ハンドル取り付け部⑥	⑬	ハンドル取り付け部⑬	⑳	収納庫 2
⑦	搬送開閉レバー	⑭	PSB6	㉑	収納庫 3

 **参 照** ④、⑤、⑧～⑪、⑭～⑯の場所については、「センサー配置図」P.137を参照してください。

表示部

■ 待機中画面



①	状態表示	装置の状態をアイコンで表示します。
②	状態メッセージ	装置の状態をメッセージで表示します。
③	金種別収納状態表示	金種別の収納枚数（在高）を表示します。
④	紙幣リジェクト表示	紙幣リジェクト部の状態を表示します。
⑤	紙幣カセット収納状態表示	紙幣カセットの収納容量（在高）を表示します。
⑥	ボタン表示	実行可能なボタンを表示します。 表示するボタンは装置の状態と設定によって変わります。



参考

待機状態で一定時間無操作だった場合は、画面保護のために、表示部液晶画面が消灯します。レジスターからの指示や装置の操作があると、表示部液晶画面が再び点灯します。



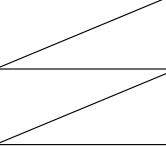
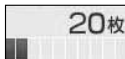




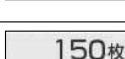

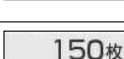






参照


表示内容の詳細は、[P.18](#)～[P.20](#)を参照してください。

ボタンの設定は、「ボタン設定のしかた」[P.98](#)を参照してください。

① 状態表示			
アイコン	内容	アイコン	内容
	待機中です。		エラー解除体験計数待機中です。
	作動中です。		エラー解除体験中です (黄色)。
	計数待機中です。		戻し入れ待機中です。
	確認が必要です。		戻し入れ中です (赤色)。
	設定中です。		収納部が開かれました。

③ 金種別収納状態表示 / ⑤ 紙幣カセット収納状態表示				
表示			内容	目盛り
硬貨	紙幣	紙幣カセット		
			お金が不足しています。	0
			お金がまもなく不足になります。	1～2 (赤色)
			お金は適量です。	3～8 (硬貨 / 紙幣) 0～8 (紙幣カセット) (青色)
			お金がまもなく満杯になります。	9 (赤色)
			お金が満杯です。	10 (赤色)

 **参考** 紙幣は収納庫が満杯になると、超過分はカセットに搬送されます。

 **参照** "まもなく不足"、"まもなく満杯"となる枚数は変更することができます。詳細は、[P.74](#)を参照してください。

④紙幣リジェクト表示		
表示		内容
紙幣リジェクト	なし	リジェクト紙幣はありません。
紙幣リジェクト	あり	リジェクト紙幣があります（橙色）。
紙幣リジェクト	まもなく満杯	リジェクト紙幣がまもなく満杯になります（赤色）。
紙幣リジェクト	満杯	リジェクト紙幣が満杯です（赤色）。

■ 補充中、回収中、出金中などの画面

補充中画面

	補充中です	<input checked="" type="checkbox"/> 硬貨 補充中	<input type="checkbox"/> 紙幣 補充中	⑧	
万	0枚	500	4枚	10	0枚
5千	0枚	100	5枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額	2,500円				

回収中画面

	回収中です	<input checked="" type="checkbox"/> 硬貨 回収中			
万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	17枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額	1,700円				
中止					

出金中画面

	出金中です	<input checked="" type="checkbox"/> 硬貨 出金中			
万	0枚	500	1枚	10	4枚
5千	0枚	100	4枚	5	1枚
2千	0枚	50	1枚	1	4枚
千	0枚				
出金金額	999円				

⑦	金種別計数枚数表示	金種別の計数した枚数を表示します。
⑧	処理機状態表示	各処理機の状態を表示します。 表示内容の詳細は、P.20を参照してください。

⑧ 処理機状態表示（注意を喚起する表示は赤、稼働中は青で表示します。）		
	表示	内容
注意喚起 (赤色)	収納部外れ セット外れ カセット外れ リジェクト部外れ	各部のセット状態を表示します。
	不足あり まもなく不足 まもなく満杯 満杯あり カセット満杯	収納庫・カセットの収納状態を表示します。
	トレー満杯 リジェクト満杯	収納庫・カセット以外の収納状態を表示します。
	異常あり 抜き取り待ち 繰り出し不良 リセット待ち	処理機状態を表示します。
	応答なし	処理機との通信ができないことを表示します。
	未接続	ケーブルが接続されていないことを表示します。
	稼働状態 (青色)	補充中 リセット中 回収中 入金中 出金中 戻し入れ中

鍵の種類

付属の鍵は、モード切り替えおよび装置内部の引き出し時に使用します。
鍵の種類と用途をご確認のうえ、使用してください。

■ RT-380

収納部鍵（円形）

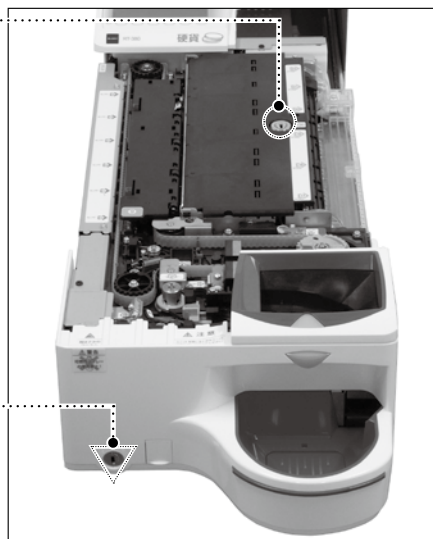


収納部解錠時に使用します。

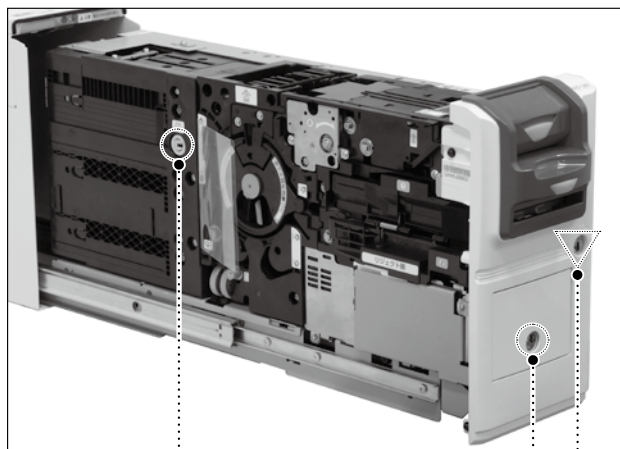
モード切り替え鍵（三角形）



ユニットを引き出すとき、
および、モードを切り替える
ときに使用します。



■ RAD-380



カセット・収納部鍵（円形）



収納部およびカセットの
解錠時に使用します。

モード切り替え鍵（三角形）



ユニットを引き出すとき
に使用します。

■ モード切り替え錠

モードを切り替えて操作します。



「運用」・・・通常の営業時間中の位置です。

鍵の抜き取り：可能



「管理」・・・お金を回収するときなど管理者の操作が必要な場合の位置です。

鍵の抜き取り：不可能

※ RT-380 のみ




「保守」・・・エラー時など、装置内部を引き出して確認する場合の位置です。

鍵の抜き取り：不可能

お使いになる前に

設置するにあたって

この製品の設置・移設の際は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。
また、「ご使用前の安全遵守事項」の「警告 / 設置について」[P. 2](#) ~ [P. 3](#) を確認してください。

■設置方法

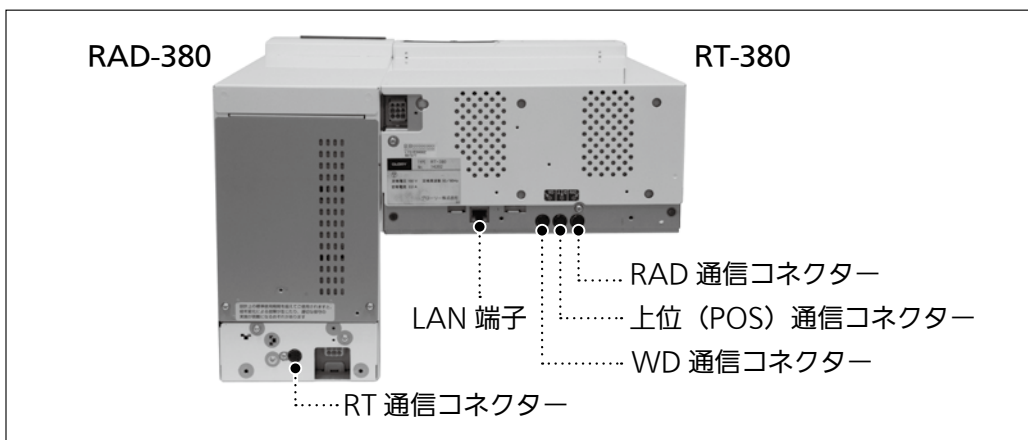
- 日常で管理が行き届く場所に設置してください。
(意図のないいたずらにご注意ください。)
- この製品は屋内専用機です。屋外に設置しないでください。
- 製品は、水平に設置してください。
- コンセントは必ず抜き差しのできる位置に設置してください。

注意

製品が転倒防止金具で固定されていることを確認してください。
(付属の設置要領書参照)
固定せずに使用すると製品が不意に動いてケガをしたり、製品を破損する恐れがあります。

指定以外の物を製品の上に乗せないでください。
指定されている以外の物を乗せた場合、動作機能が正常に得られない可能性があります。

■接続コネクタ

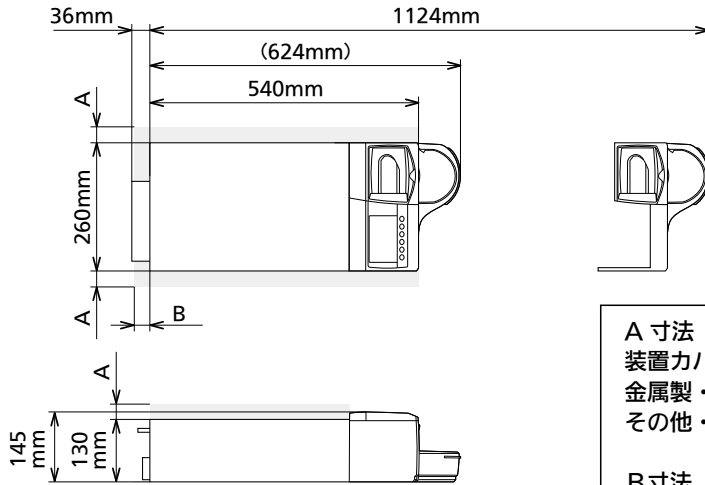


設置スペース

設置・ご使用の際は、扉、カバーの開閉、および操作が十分可能な空間をお取りください。

■ RT-380

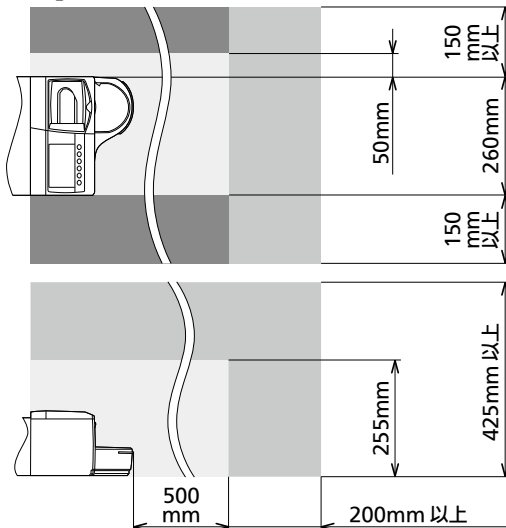
[運用]



A 寸法 (排熱スペース)
装置カバー・架台
金属製・・・3mm
その他・・・30mm

B 寸法 (ハーネス処理スペース)
30 mm

[保守]



□ : 引き出しスペース

■ : エラー解除スペース

■ : 保守スペース

(製品設置台または周辺の物を移動してスペースが確保できること)

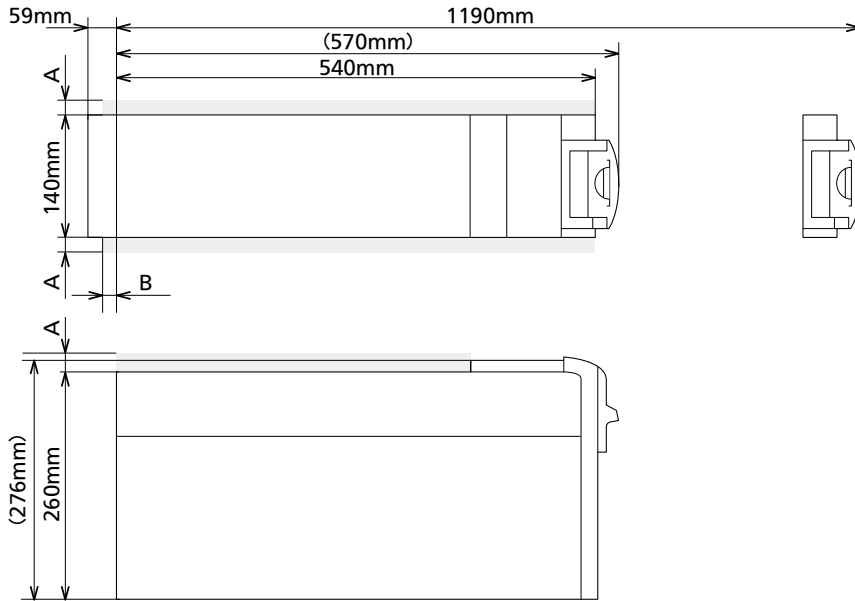
[設置環境について]

以下の環境で設置される場合は、製品内に熱がこもりやすくなり、お金に熱が伝わりますのでご注意ください。

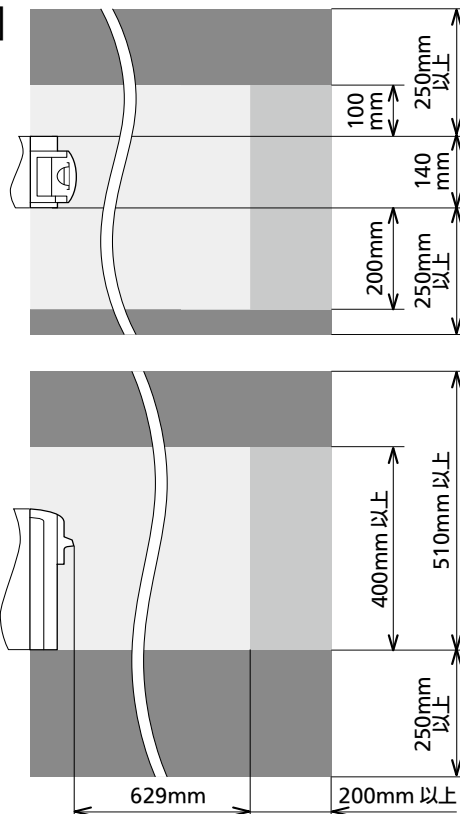
- ・木製のレジ架台へ設置を行う場合。
- ・RAD-380 の設置面を除き、上図の A 寸法が確保できない場合。
- ・ご利用環境が室温 25℃ を超える場合。
- ・周辺に熱源となる機器 (排気口が装置に向いている POS など) を併設する場合。
- ・その他、放熱性が悪い環境で使用する場合。

■ RAD-380

[運用]



[保守]



A寸法 (排熱スペース)
装置カバー・架台
金属製・・・3mm
その他・・・30mm

B寸法 (ハーネス処理スペース)
30mm

※A寸法は設置する架台の材質により異なります。

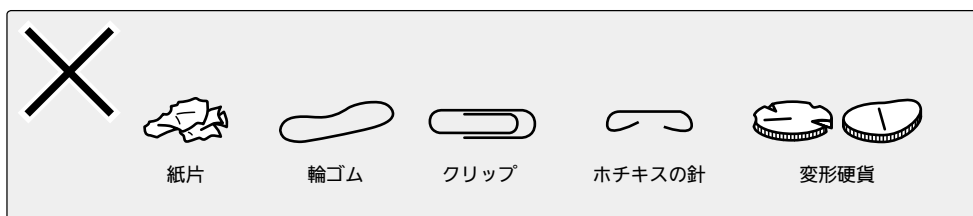
- : 引き出しスペース
- : エラー解除スペース
- : 保守スペース
(製品設置台または周辺の物を移動してスペースが確保できること)

使用するお金について

製品内部のお金の詰まりを未然に防止するために、次の事項に注意してください。

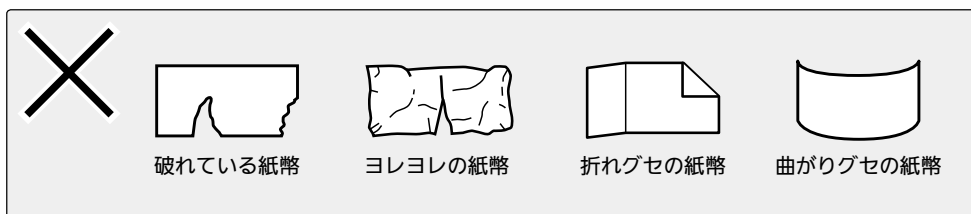
■ RT-380 硬貨の取り扱い注意事項

- 投入口へは、一度に 51 枚以上の硬貨を投入しないでください。
- 包装硬貨のまま投入しないでください。
- 収納庫に直接硬貨を入れないでください。
- 製品内の硬貨の回収は、故障時以外は必ず回収操作で回収してください。直接収納庫から硬貨を抜き取らないでください。
- 水や油などで濡れた硬貨は、エラーが発生する恐れがありますので、投入しないでください。
- 変形貨、磨耗貨、外国貨は、投入時および払い出し時にエラーまたは重要なトラブルが発生する恐れがありますので、投入しないでください。
- 硬貨にゴミ、クリップ、ホチキスの針、糸クズ、レシートなどが付着、混入していないか確認してください。故障や硬貨詰まりの原因となります。



■ RAD-380 紙幣の取り扱い注意事項

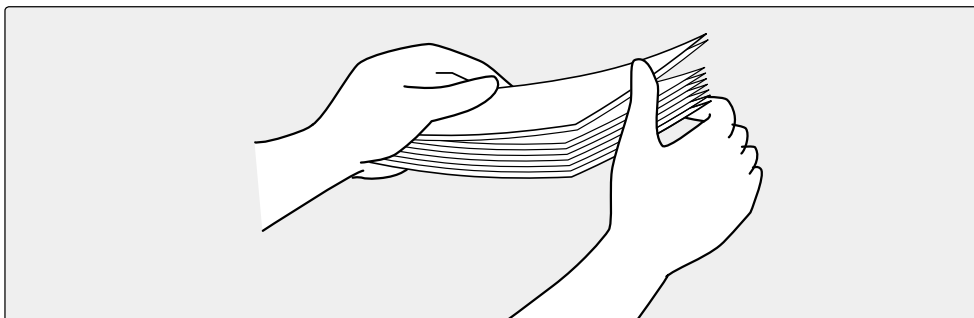
- 挿入口へは、一度に 21 枚以上の紙幣を挿入しないでください。
- 収納庫に直接紙幣を入れしないでください。
- 挿入口へ紙幣を無理に押し込まないでください。
- 稼働中に追加補充しないでください。挿入口へ紙幣を挿入する場合、必ず装置が待機中であることを確認してください。
- 水や油などで濡れた紙幣は、エラーが発生する恐れがありますので、挿入しないでください。
- 新券のみでのご使用を続けた場合は、部品の寿命が短くなる可能性があります。
- 紙幣はよく伸ばして、そろえてまっすぐに挿入口へ挿入してください。次のように破れている紙幣やクセの強い紙幣の挿入は避けてください。紙幣詰まりの原因となります。



- 紙幣にゴミ、クリップ、ホチキスの針、糸クズ、レシートなどが付着、混入していないか確認してください。故障や紙幣詰まりの原因となります。



- 新券はよくさばいてから挿入してください。紙幣詰まりの原因となります。



- 紙幣を挿入するときは、紙幣の先端をよくそろえ、まっすぐ挿入してください。



日常の操作の流れ

ここでは、日常の係員操作の流れと操作手順の説明ページを記載しています。操作手順の詳細は、下記表の「参照」で確認してください。

営業開始までの操作			
手順	日常の操作	参照	
1	装置内部を確認する	「装置内部の引き出しかた」	P.33
		「装置内部の閉じかた」	P.34
		「収納部扉の開閉のしかた」	P.35
		「カセットの抜き取りかた」	P.37
		「カセットの開きかた・閉じかた」	P.38
		「リジェクト部の開きかた」	P.39
2	電源を入れる	「電源の入／切のしかた」	P.41
3	つり銭を補充する	「つり銭の補充のしかた」(つり銭機モード)	P.42
		「つり銭の補充のしかた」 (預かり金計数モード)(現金管理機モード)	P.43

営業中の操作			
No.	日常の操作	参照	
1	つり銭を払い出す (つり銭機モード)	「つり銭の払い出しかた」	P.45
2	預かり金を計数する (預かり金計数モード) (現金管理機モード)	「預かり金の計数のしかた」	P.46
3	両替をする	「両替・逆両替のしかた」	P.49
4	任意のお金を払い出す	「払い出しのしかた」	P.52
5	装置内の金額を確認する	「在高確認のしかた」	P.55

営業終了後の操作			
No.	日常の操作	参照	
1	お金を回収する	「回収のしかた」	P.57
2	取引や操作履歴を確認する	「履歴の参照のしかた」	P.66
3	準備金の不足金種を確認する	「在高確認のしかた」	P.55
4	交代データを確認する	「交代データの確認のしかた」	P.120
5	締めをする	「締めのしかた」	P.122

その他			
No.	日常の操作	参照	
1	在高データが正常であるかを確認する	「在高不確定状態の確認のしかた」	P.116
2	在高不確定状態を解除する	「在高不確定状態の解除のしかた」	P.117

運用設定			
設定内容	参照		
残置枚数・金額を設定する	「残置設定のしかた」		P.73
収納庫の不足・満杯枚数などを設定する	「収納庫運用設定のしかた」		P.74
回収処理を設定する	「回収運用設定のしかた」		P.77
補充処理を設定する	「補充運用設定のしかた」		P.89
出金処理を設定する	「出金運用設定のしかた」		P.92
両替処理を設定する	「両替運用設定のしかた」		P.95
ボタン表示を設定する	「ボタン設定のしかた」		P.98
画面・ブザーを設定する	「画面・ブザー設定のしかた①」		P.102
レジ番号を設定する	「その他の設定のしかた」		P.105
運用モードを設定する	「運用モード設定のしかた」		P.108

設定			
設定内容	参照		
画面・ブザーを設定する	「画面・ブザー設定のしかた②」		P.111
製品情報を参照する			
エラー解除のシミュレーションをする			

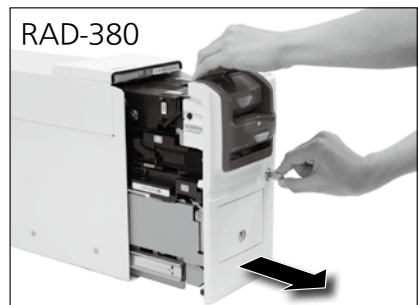
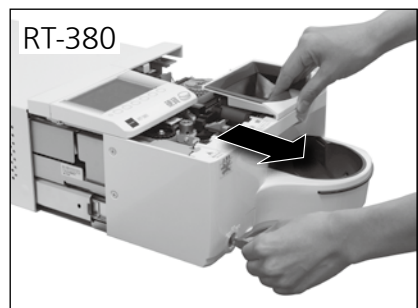
装置内部の引き出しかた

以下の手順に従って、装置内部を引き出してください。

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置にします



- 2 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



装置内部の閉じかた

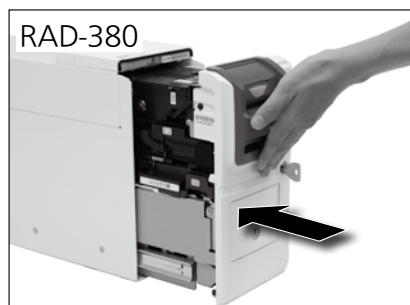
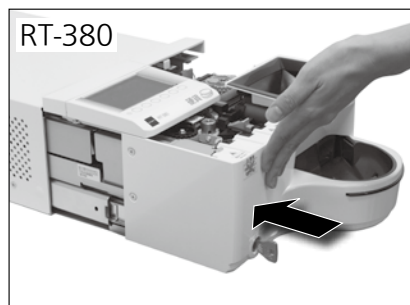
以下の手順に従って、装置内部を閉じてください。

⚠ 注意

装置内部を閉じるときは、必ず前面を押してください。また、側面やフチに手をかけないでください。
指をはさんでケガをする恐れがあります。

装置内部を閉じるときは、収納部錠に鍵を付けたまま押し込まないでください。
製品が破損する恐れがあります。

- 1 カバー前面を押して、最後まで押し込みます



収納部扉の開閉のしかた

以下の手順に従って、収納部扉の開閉を行ってください。

■ 収納部扉の開きかた

1 装置内部を引き出します

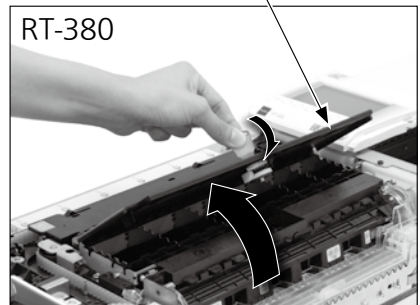


参 照

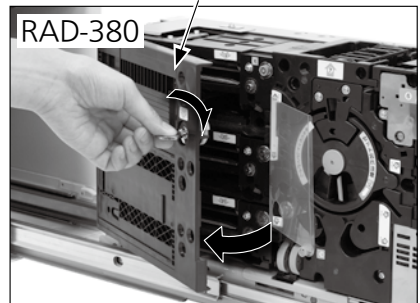
装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。

2 付属の収納部鍵で収納部錠を解錠し、 収納部扉を開きます

収納部扉

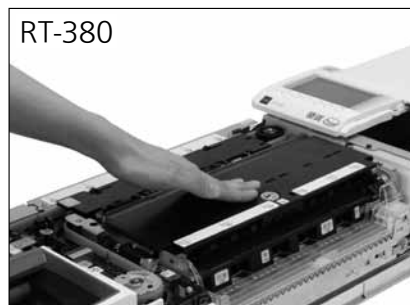


収納部扉



■ 収納部扉の閉じかた

- 1 収納部鍵の抜き忘れがないか確認し、
収納部扉を押して閉じます



- 2 装置内部を閉じます



参 照

装置内部の閉じかたについては、P.34を参照してください。

カセットの抜き取りかた

以下の手順に従って、カセットを装置から抜き取ってください。

- 1 回収処理の実施やレジスターからの指示などにより、カセットが外れるので、抜き取ります

⚠ 注意

カセットを取り扱うときは、十分気をつけてください。
カセットを落とすと、ケガをしたりカセットが破損したりする恐れがあります。



注意

カセットの前面が押さえられている場合、ロックが外れないことがあります。
カセットの前面を手などで押さえないでください。



カセットの開きかた・閉じかた

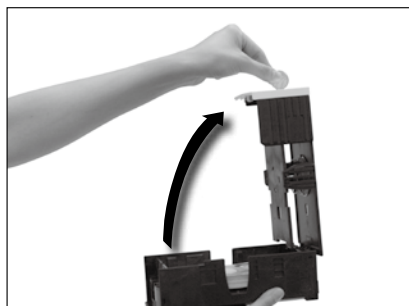
以下の手順に従って、カセットを開いてください。

■ カセットの開きかた

- 1 カセット底面を下にして付属のカセット・収納部鍵でカセット錠を解錠します

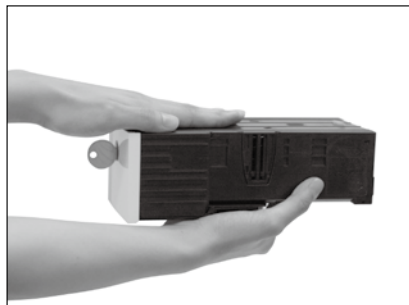


- 2 そのままゆっくりと持ち上げます



■ カセットの閉じかた

- 1 カセットをゆっくりと元の状態に戻して閉じます
施錠されたことを確認してください。



リジェクト部の開きかた

以下の手順に従って、リジェクト部を開いてください。

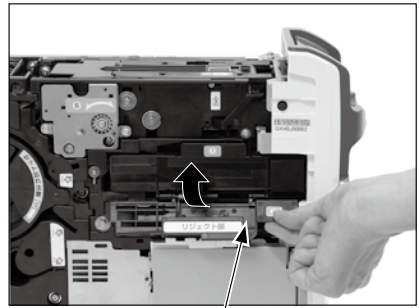
1 装置内部を引き出します



参 照

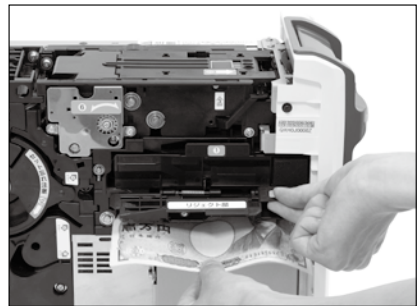
装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。

2 リジェクト部扉を開きます



リジェクト部扉

3 リジェクト部の紙幣をすべて抜き取ります



4 装置内部を閉じます



参 照

装置内部の閉じかたについては、[P.34](#)を参照してください。

払い出し部の開きかた

以下の手順に従って、払い出し部を開いてください。

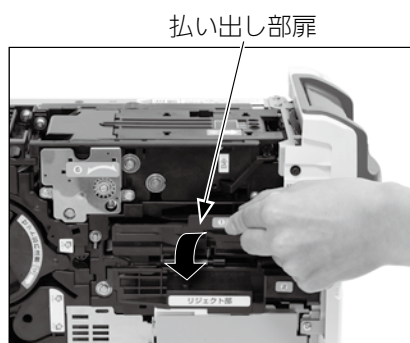
1 装置内部を引き出します



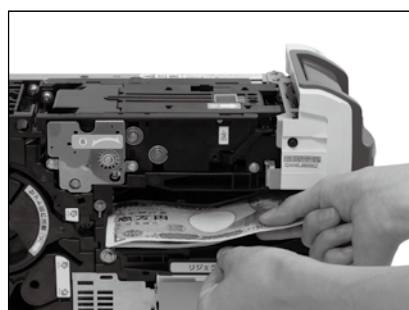
参 照

装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。

2 払い出し部扉を開きます



3 払い出し部の紙幣をすべて抜き取ります



4 装置内部を閉じます



参 照

装置内部の閉じかたについては、[P.34](#)を参照してください。

電源の入／切のしかた

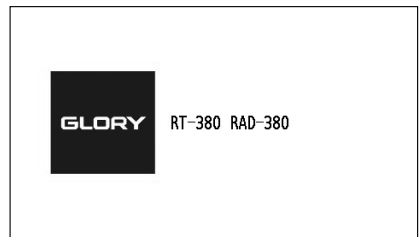
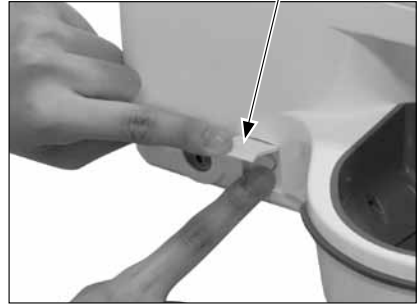
以下の手順に従って、電源を入／切してください。

■ 電源の入れかた

1 電源スイッチカバーを開き、電源スイッチを押します

起動画面が表示され製品が初期動作を始めます。
待機中画面になるまでお待ちください。

電源スイッチカバー



■ 電源の切りかた

1 電源スイッチカバーを開き、電源スイッチを押します



重要

製品が補充中、出金中など動作中に電源を切らないでください。エラー、在高不確定発生の原因になります。



つり銭の補充のしかた（つり銭機モード）

「使用するお金について」P.28～P.30をご確認のうえ、つり銭の補充を行ってください。
以下の手順に従って、つり銭を補充してください。

⚠ 注意

硬貨を投入口へ入れるときは、投入口のローラーに触れないでください。
指をはさんでケガをする恐れがあります。

1 装置が待機中であることを確認し、つり銭準備金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れます

補充中画面になり、紙幣・硬貨の取り込みをします。

硬貨は、一度に約 50 枚（100 円換算）まで投入できます。

紙幣は、一度に混合金種合計 20 枚まで挿入できます。



注意

- ・金種判定ができなかったお金は、払い出し口に返却されます。返却されたお金は払い出し口から取り除いてください。
- ・この製品には、偽造通貨の検知機能はありません。必ず補充前にお金と合計金額を確認してください。



参考

補充中に「硬貨中断」を押すと、硬貨の補充を中断することができます。

中断した後は、自動で硬貨を取り込まないようにしていますので、再開する場合は、「再開」を選択してください。

待機中画面



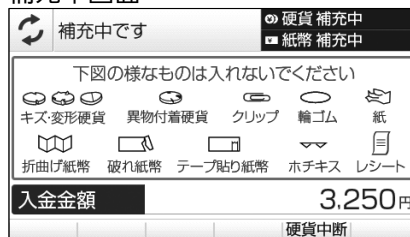
RT-380



RAD-380



補充中画面



つり銭の補充のしかた（預かり金計数モード）（現金管理機モード）

「使用するお金について」P.28 ~ P.30 をご確認ください。つり銭の補充を行ってください。
以下の手順に従って、つり銭を補充してください。

⚠ 注意

硬貨を投入口へ入れるときは、投入口のローラーに触れないでください。
指をはさんでケガをする恐れがあります。

- 1 [補充] を選択します
補充中画面になり、紙幣・硬貨の取り込みをします。

待機中画面

→ 待機中です					
万	20	500	30	10	30
5千	20	100	30	5	30
千	20	50	30	1	30
紙幣リジェクト	なし		紙幣カセット		20
払い出し	両替	回収	つり銭機	精査	補充



補充中画面

🔄 補充中です						📄 硬貨 補充中
						📄 紙幣 補充中
万	0枚	500	4枚	10	0枚	0枚
5千	0枚	100	5枚	5	0枚	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚	0枚
千	0枚					
入金金額						2,500円

2 装置が補充中であることを確認し、つり銭準備金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れます

硬貨は、一度に約 50 枚（100 円換算）まで投入できます。

紙幣は、一度に混合金種合計 20 枚まで挿入できます。



注意

- ・待機中に投入された硬貨は払い出し口に返却されます。返却された硬貨を払い出し口から取り除き、[補充]を選択してから、再度硬貨を投入してください。
- ・金種判定ができなかったお金は、払い出し口に返却されます。返却されたお金は払い出し口から取り除いてください。
- ・この製品には、偽造通貨の検知機能はありません。必ず補充前にお金と合計金額を確認してください。

補充中画面

🔄 補充中です		📄 硬貨 補充中			
		📄 紙幣 補充中			
万	0枚	500	4枚	10	0枚
5千	0枚	100	5枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額					2,500円



RT-380



RAD-380

つり銭の補充のしかた
(預かり金計数モード) (現金管理機モード)

日常の操作

つり銭の払い出しかた

お客様より受け取ったお金の金額を本製品に接続されたレジスターなどに入力すると、レジスターなどからの指示により、つり銭が払い出されます。以下の手順に従って、つり銭を払い出してください。

1 レジスターなどで金額を入力後、払い出されたつり銭を確認し、お客様にお渡しください

払い出しが完了すると、ブザーが「ピッピッピッ・・・」と鳴り、払い出し口ランプが青色に点灯しますので、お金を取り出ししてください。

お金を取り出すとブザーが止まり、払い出し口ランプは消灯します。



参照




ブザーの音量は調整が可能です。詳細は、[P.102](#) [P.111](#) を参照してください。



注意

払い出しが完了すると右図のように表示されます。払い出されたつり銭を確認し、お客様にお渡しください。



 出金されたお金を 抜き取ってください	 硬貨 抜き取り待ち
	 紙幣 抜き取り待ち
出金金額	1,500円

預かり金の計数のしかた

以下の手順に従って、預かり金の計数を行ってください。

1 お金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れます

レジスターなどからの指示により、計数可能状態になると、挿入口ランプおよび投入口ランプが青色で点滅します。お金が入り込まれ、計数した金額が表示部に表示されます。また、レジスターなどにも通知します。



注意

金種判定ができなかったお金は、払い出し口に返却されます。返却されたお金は払い出し口から取り除いてください。

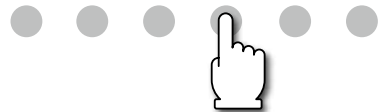


参考

[枚数] を押すと枚数表示に、
[金額] を押すと金額表示に切り替わります。



預かり金計数中です		硬貨入金中	
預かり金金額		1,998円	
現金売上		0円	
つり銭金額		0円	
		枚数	



預かり金計数中です		硬貨入金中	
万	0枚	500	3枚
5千	0枚	100	3枚
2千	0枚	50	3枚
千	0枚		
10	3枚	5	3枚
5	3枚	1	3枚
1	3枚		
預かり金金額		1,998円	
		金額	



次ページへ

2 預かり金計数後、本製品に接続されたレジスターなどからの指示により、つり銭が自動で払い出されます

払い出しが完了すると、ブザーが「ピッピッピッ・・・」と鳴り、払い出し口ランプが青色に点灯しますので、お金を取り出して下さい。

お金を取り出すとブザーが止まり、払い出し口ランプは消灯します。



🔄	出金されたお金を 抜き取ってください	📄 硬貨 抜き取り待ち
預かり金金額	1,998円	
現金売上	1,898円	
つり銭金額	100円	

預かり金計数中に、リジェクトされたお金があった場合

1. 払い出し口ランプが赤点滅と同時に お金を払い出し口に返却します

お金の取り込みが終わった状態で返却されたお金がある場合は、ブザーが「ピッピッピッ・・・」と鳴り、払い出し口ランプが赤色で点滅します。



返却されたお金を抜き取るまで次のお金の取り込みはしません。



返却されたお金を抜き取ってください		硬貨 抜き取り待ち
預かり金金額	1,998円	
現金売上	0円	
つり銭金額	0円	
		枚数



2. 返却されたお金を取り出します



リジェクトされたお金は計数金額に含まれません。リジェクトされたお金を取り出し、再投入するか、レジスターで手入力を行うなど、定められた運用を行ってください。

RT-380



RAD-380



両替・逆両替のしかた

以下の手順に従って、両替・逆両替を行ってください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、**[両替]**を選択します
両替中画面になります。**[両替]**選択後、無操作時間が3分を超えると、待機中画面に自動で戻ります。



参照

[両替]が表示されていない場合は、ボタンを有効に設定してください。

詳細は、「両替運用設定のしかた」[P.95](#)または、「ボタン設定のしかた」[P.98](#)を参照してください。

待機中画面

→ 待機中です					
万	20	500	30	10	30
5千	20	100	30	5	30
千	20	50	30	1	30
紙幣リジェクト	なし	紙幣カセット	20		
払い出し	両替	回収	つり銭機	精査	補充



両替中画面

両替中です					
万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額					0円
戻る					

- 2 両替したいお金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れると自動で取り込まれます




注意

複数枚お金を入れた場合は、逆両替となります。



3 計数後、払い出し可能な枚数を表示します

下記表はあらかじめ設定されている払い出し枚数の組み合わせです。
この枚数から [▲]、[▼] で金種を選択し、
[減] または、[増] を押して、枚数を設定してください。

 **参考** [増]、[減] は押し続けると、
加減単位が±10 となります。

投入金種		払い出し枚数
紙幣	1万円 ▶	5千円×1枚 千円×5枚
	5千円 ▶	千円×5枚
	2千円 ▶	千円×2枚
	千円 ▶	500円×1枚 100円×5枚
硬貨	500円 ▶	100円×5枚
	100円 ▶	50円×1枚 10円×5枚
	50円 ▶	10円×5枚
	10円 ▶	5円×1枚 1円×5枚
	5円 ▶	1円×5枚

逆両替の場合は、最少の構成枚数で払い出されます。

例

投入金種	払い出し枚数
500円×2枚 ▶	千円×1枚



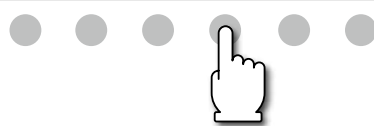
両替中です

万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	5枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額	500円				
返却	▲	▼			確定




両替中です

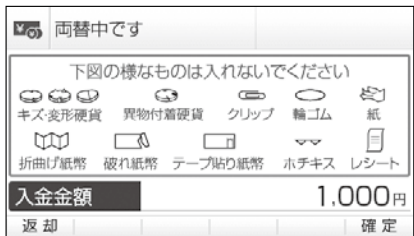
万	0枚	500	0枚	10	5枚
5千	0枚	100	4枚	5	0枚
2千	0枚	50	1枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額	500円				
返却	▲	▼	減	増	確定



両替・逆両替のしかた

日常の操作

逆両替時画面



両替中です

下図の様なものは入れないでください

キズ変形硬貨 異物付着硬貨 クリップ 輪ゴム 紙
折曲げ紙幣 破れ紙幣 テープ貼り紙幣 ホチキス レシート

入金金額	1,000円
返却	確定

次ページへ ▶▶▶

- 4** 両替内容を確認し、[確定] を選択します
[確定] を選択する前に [返却] を選択すると、入金したお金を返却します。

両替中です					
万	0枚	500	0枚	10	5枚
5千	0枚	100	4枚	5	0枚
2千	0枚	50	1枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額					500円
返却	▲	▼	減	増	確定



- 5** 両替されたお金が払い出されます
払い出されたお金を確認し、取り出します。

出金されたお金を 抜き取ってください						硬貨 抜き取り待ち
万	0枚	500	0枚	10	5枚	
5千	0枚	100	4枚	5	0枚	
2千	0枚	50	1枚	1	0枚	
千	0枚					
出金金額					500円	

RT-380



RAD-380



払い出しのしかた

つり銭を誤って落としてしまったときや、お金を出金させる必要がある場合に簡単に払い出すことができます。以下の手順に従って、払い出しを行ってください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、**[払い出し]**を選択します
払い出し画面になります。**[払い出し]**選択後、無操作時間が5秒を超えると、待機中画面に自動で戻ります。



参照

[払い出し]が表示されていない場合は、ボタンを有効に設定してください。

詳細は、「出金運用設定のしかた」[P.92](#)または、「ボタン設定のしかた」[P.98](#)を参照してください。

待機中画面

→ 待機中です					
万	20	500	30	10	30
5千	20	100	30	5	30
千	20	50	30	1	30
紙幣リジェクト	なし		紙幣カセット		20
払い出し	両替	回収	つり銭機	精査	補充



払い出し画面

→ 出金金額を確定してください					
万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
千	0枚	50	0枚	1	0枚
出金金額					0円
戻る	任意	紙幣	硬貨		

払い出しのしかた

日常の操作

- 2 払い出しする枚数を設定します

あらかじめ設定した枚数で払い出したい場合

1. **[硬貨]** または、**[紙幣]** を選択すると、あらかじめ設定された枚数が設定されます。



参照

払い出し枚数は設定することができます。詳細は、「出金運用設定のしかた」[P.92](#)を参照してください。

→ 出金金額を確定してください					
万	0枚	500	1枚	10	4枚
5千	0枚	100	4枚	5	1枚
千	0枚	50	1枚	1	4枚
出金金額					999円
戻る		紙幣	決定		




次ページへ ▶▶▶

設定した枚数以外で払い出したい場合

1. [任意] を選択すると、任意の枚数を設定できます。

2. [▲]、[▼] で金種を選択 (①) し、
[減] または、[増] を選択 (②) して、
金種ごとの枚数を設定します。

 参考	<p>[増]、[減] は押し続けると、 加減単位が± 10 となります。</p>
---	--

→ 出金金額を確定 してください					
万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
千	0枚	50	0枚	1	0枚
出金金額					0円
戻る		任意		紙幣	硬貨



→ 出金金額を確定 してください					
万	0枚	500	1枚	10	4枚
5千	0枚	100	4枚	5	1枚
千	0枚	50	1枚	1	4枚
出金金額					999円
戻る		▲	▼	減	増
				決定	



3 内容を確認し、[決定] を選択します

→ 出金金額を確定 してください					
万	0枚	500	1枚	10	4枚
5千	0枚	100	4枚	5	1枚
千	0枚	50	1枚	1	4枚
出金金額					999円
戻る		▲	▼	減	増
				決定	



4 設定したお金が払い出されます
払い出されたお金を確認し、取り出します。

硬貨は高額金種から順に払い出されますので1金種ずつ取り出してください。
例) 999円払い出された場合・・・

- 500円×1枚払い出し→抜き取り
- 100円×4枚払い出し→抜き取り
- 50円×1枚払い出し→抜き取り
- 10円×4枚払い出し→抜き取り
- 5円×1枚払い出し→抜き取り
- 1円×4枚払い出し→抜き取り

在高確認のしかた

待機中画面に表示される [つり銭機] を選択することで、製品内の紙幣・硬貨の在高を確認することができます。以下の手順に従って、在高確認を行ってください。

待機中画面

→ 待機中です					
万	20	500	30枚	10	30
5千	20	100	30枚	5	30
千	20	50	30枚	1	30
紙幣リジェクト	なし	紙幣カセット			
払い出し	両替	回収	つり銭機	精査	補充

待機中画面の [つり銭機] を選択すると、在高などの情報を確認することができます。

収納在高表示画面

→ 収納在高表示					
万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	30枚	100	30枚	5	30枚
千	30枚	50	30枚	1	30枚
紙幣リジェクト	なし	紙幣カセット	20枚		
総計金額	439,980円				
戻る	交代	履歴	カセット	設定	補充

[カセット] を選択

不足準備金の表示画面

→ 不足準備金の表示					
万	0枚	500	0枚	10	-20枚
5千	0枚	100	-20枚	5	0枚
千	-20枚	50	0枚	1	-20枚
不足金額	-22,220円				
戻る		収納部			補充

[収納部] を選択

カセット在高表示画面

→ カセット在高表示	
万	0枚
5千	0枚
2千	20枚
千	0枚
合計金額	40.000円
戻る	上限枚数

カセットに収納されている紙幣の枚数が表示されます。

[上限枚数] を選択

収納上限枚数の表示画面

→ 収納上限枚数の表示					
万	69枚	500	64枚	10	119枚
5千	49枚	100	119枚	5	79枚
千	149枚	50	79枚	1	119枚
		紙幣カセット			159枚
戻る	準備金	補充			

現在の在高に対して、まもなく満杯になるまでの枚数が表示されます。

[準備金] を選択



参照

残置させる枚数の設定については、[P.82](#)を参照してください。



参考

カセット在高表示画面、収納上限枚数の表示画面、不足準備金の表示画面の [戻る] を選択すると、収納在高表示画面に戻ります。

回収のしかた

製品が待機状態（入出金や回収などの操作を行っていない状態）の場合、収納庫にあるお金を回収することができます。

以下の手順に従って、回収を行ってください。

1 装置が待機中であることを確認し、モード切り替え鍵を「管理」位置に合わせます

[回収]が表示されていることを確認してください。



参照

[回収]が表示されていない場合は、ボタンを有効に設定してください。

詳細は、「回収運用設定のしかた」P.77または、「ボタン設定のしかた」P.98を参照してください。



2 [回収]を選択します
回収内容選択画面になります。



3

回収内容を選択します

[▲]、[▼]で実行したい回収内容を選択(①)し、[決定]を選択(②)してください。

回収の種類	
全回収	硬貨と紙幣の全金種を回収します。
硬貨のみ全回収	硬貨の全金種を同時に回収します。
紙幣のみ全回収	紙幣の全金種を同時に回収します。
個別回収	指定金種のみ回収します。
途中回収	設定した枚数分回収します。
残置回収	設定した枚数 / 金額分、製品内に残るように回収します。



参照

各回収処理の設定は「回収運用設定のしかた」P.77を参照してください。



4

回収処理を開始します



参考

回収処理中に[中止]を選択すると、回収処理を途中で終了します。

回収中です		硬貨回収中			
万	0枚	500	7枚	10	8枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額					3.580円
中止					



■ RT-380

1.硬貨が払い出し口に回収されます
払い出し口が満杯になると、自動的に一時停止し、右図のように表示されるので、硬貨を取り出します

硬貨を取り出すと、回収動作を再開します

🔄 回収されたお金を 抜き取ってください		📄 硬貨トレイ満杯			
万	0枚	500	22枚	10	25枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額					11,250円
中止					



2.回収が終了すると、右図のように表示されるので、払い出し口に回収された硬貨を取り出します

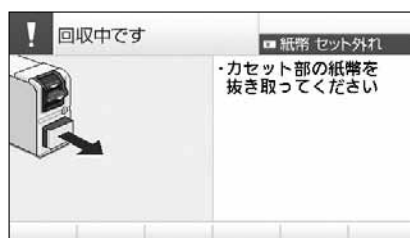
🔄 回収されたお金を 抜き取ってください		📄 硬貨抜き取り待ち			
万	0枚	500	30枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額					15,000円
中止					



■ RAD-380

紙幣回収搬送先をカセットに設定している場合

- 1.紙幣がカセットに回収されます
カセットが満杯になると、カセットが外れ、右図のように表示されるので、カセットを抜き取ります



- 2.カセット内の紙幣をすべて抜き取って装置に戻します



参 照

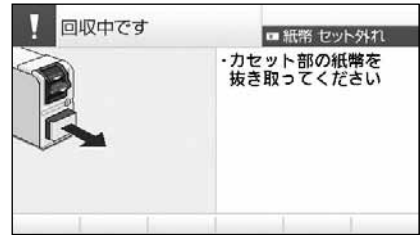
- ・カセットの抜き取りかたの詳細については、[P.37](#) を参照してください。
- ・カセットの開きかたの詳細については、[P.38](#) を参照してください。

- 3.カセットが正しくセットされると、右図のように表示されます

! カセットの抜き取りが完了しました					
万	200枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額	2,000,000円				

次ページへ ▶▶▶

4.回収が終了すると、カセットが外れ、右図のように表示されるので、カセットを抜き取ります



5.カセット内の紙幣をすべて抜き取って装置に戻します



参 照

- ・カセットの抜き取りかたの詳細については、[P.37](#) を参照してください。
- ・カセットの開きかたの詳細については、[P.38](#) を参照してください。

6.カセットが正しくセットされると、右図のように表示されます

!		カセットの抜き取りが完了しました			
万	200枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額		2,000,000円			



紙幣回収搬送先を払い出し部に設定している場合

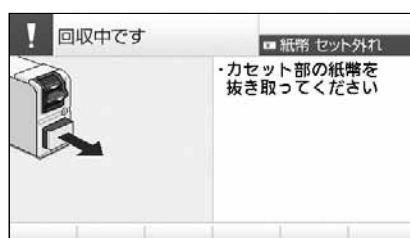
1. 紙幣が払い出し口に回収され、右図のように表示されるので、紙幣を抜き取ります

回収されたお金を抜き取ってください		紙幣 抜き取り待ち	
万	10枚	500	0枚
5千	0枚	100	0枚
2千	0枚	50	0枚
千	0枚		
回収金額		100.000円	
中止			



2. カセット内に紙幣がある場合、払い出し口への回収が終わると、カセットが外れ、右図のように表示されます

紙幣回収搬送先をカセットに設定している場合と同じ手順でカセット内の紙幣を回収してください



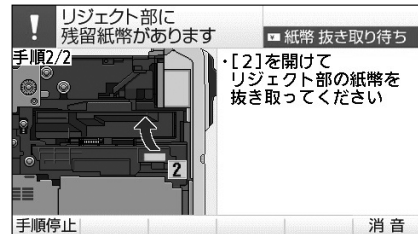
参照

- 紙幣回収搬送先の設定については、[P.88](#) を参照してください。
- カセットの抜き取りかたの詳細については、[P.37](#) を参照してください。
- カセットの開きかたの詳細については、[P.38](#) を参照してください。

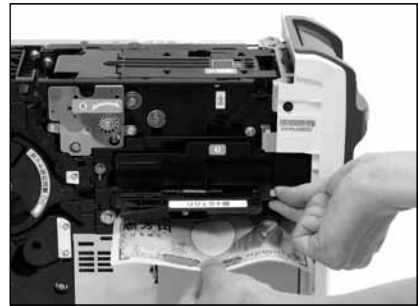
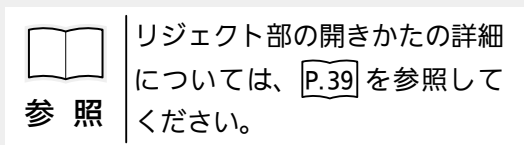
次ページへ ▶▶▶

回収中にリジェクトが発生した場合

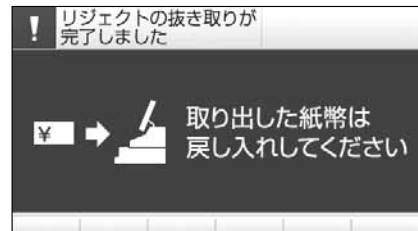
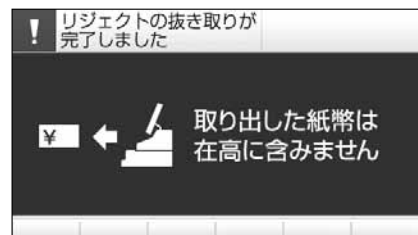
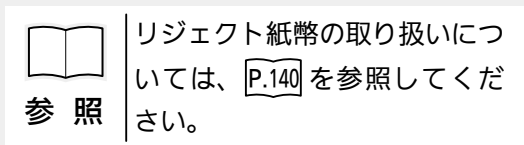
1.回収が終了した時点でリジェクト部にリジェクト紙幣がある場合、右図のように表示されます



2.リジェクト部にあるリジェクト紙幣を抜き取ります



3.リジェクト部扉を閉じると右図のように抜き取ったリジェクト紙幣の取り扱い方法が表示されます



待機中にカセットが満杯になった場合

1. モード切り替え鍵を「管理」位置に合わせると、右図のように、[回収]が表示されます

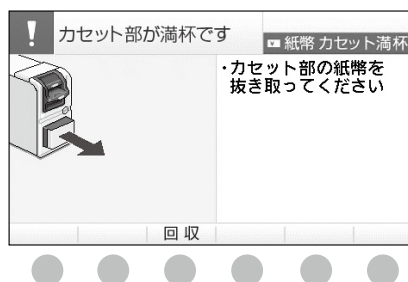


参照

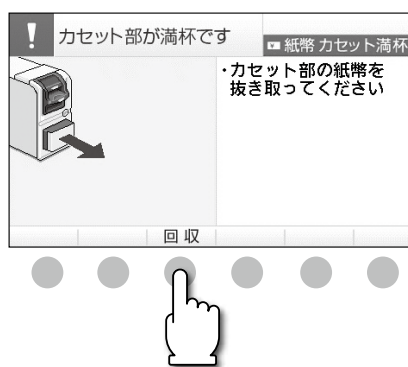
[回収]が表示されていない場合は、ボタンを有効に設定してください。

詳細は、「ボタン設定のしかた」

P.98 を参照してください。



2. [回収]を選択すると、カセットが外れます



次ページへ ▶▶▶

3.カセットを抜き取り、カセット内の紙幣をすべて抜き取って装置に戻します



参照

- カセットの抜き取りかたの詳細については、**P.37** を参照してください。
- カセットの開きかたの詳細については、**P.38** を参照してください。



4.カセットが正しくセットされると、右図のように表示されます

! カセットの抜き取りが完了しました					
万	200枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額	2,000,000円				

5 回収が正常に終了すると右図のように表示されます

回収されたお金を確認し、[終了]を選択してください。

→ 回収を終了します					
■ 紙幣 不足あり					
万	20枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
回収金額	200,000円				
終了					



履歴の参照のしかた

収納在高表示画面中の [履歴] を選択すると、装置がこれまでに処理した内容を参照することができます。

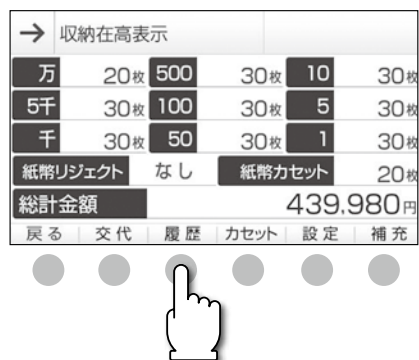
以下の手順に従って、履歴の参照を行ってください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、
[つり銭機] を選択します
収納在高表示画面が表示されます。

待機中画面



- 2 収納在高表示画面から [履歴] を選択
します
履歴選択画面が表示されます。



3 [▲]、[▼]で、参照したい項目にカーソルを合わせ(①)、[決定]を選択(②)します

履歴には以下の種類があります。

履歴選択画面 預かり金計数/現金管理機モード



履歴選択画面 つり銭機モード



■ 出金履歴 (つり銭機モードのみ)

レジスターなどからの指示により、出金した記録を表示します(1ページにつき2件)。

- 履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- 前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- [戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。



参考

[次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りを行います。

→ 出金履歴表示		P2	
8月 7日15:19:06 枚数指定出金 650円			
万	0	5千	0
500	1	100	1
50	1	10	0
5	0	1	0
0	1	0	0
RJ	無		
8月 7日15:18:45 金額指定出金 1,500円			
万	0	5千	0
500	1	100	0
50	0	10	0
5	0	1	0
0	1	0	0
RJ	無		



■ 取引履歴（預かり金計数モード、現金管理機モードのみ）

一取引の記録を表示します。

※一取引とは・・・

お客様からお金を受け取り、つり銭をお渡りするまでの一連の流れを指します。

- ・履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- ・前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- ・[詳細]を選択すると、詳細表示画面になり金額の内訳を見ることができます。
[戻る]を選択すると通常表示画面に戻ります。
- ・[戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。



参考

[次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りをします。

■ 補充履歴

つり銭準備金を補充した記録を表示します（1ページにつき2件）。

- ・履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- ・前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- ・[戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。

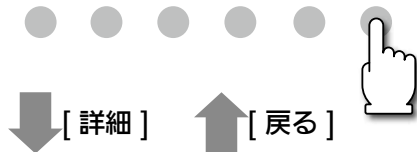


参考

[次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りをします。

通常表示画面

→	取引履歴表示	P2
8月 7日15:25:40 預かり金計数		
預かり金金額		2,000円
現金売上		1,650円
つり銭金額		350円
8月 7日15:25:55 金額指定出金 350円		
戻る	前ページ	次ページ 詳細



詳細表示画面

→	取引履歴表示	P2											
8月 7日15:25:40 預かり金計数 2,000円													
万	0	5千	0	2千	0	千	2	RJ	無				
500	0	100	0	50	0	10	0	5	0	1	0	RJ	無
8月 7日15:25:55 金額指定出金 350円													
万	0	5千	0	2千	0	千	0	RJ	無				
500	0	100	3	50	1	10	0	5	0	1	0	RJ	無
戻る	前ページ	次ページ											



→	補充履歴表示	P2											
8月 7日15:23:54 補充 2,000円													
万	0	5千	0	2千	0	千	0	RJ	無				
500	4	100	0	50	0	10	0	5	0	1	0	RJ	有
8月 7日15:18:18 補充 300円													
万	0	5千	0	2千	0	千	0	RJ	無				
500	0	100	0	50	0	10	30	5	0	1	0	RJ	無
戻る	前ページ	次ページ											



次ページへ ▶▶▶

■ 回収履歴

回収した記録を表示します。

- 履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- 前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- 回収した金額の内訳と回収前在高を確認する場合は、[▲]、[▼]で確認したい履歴を選択し、[詳細]を選択してください。詳細表示画面で[戻る]を選択すると通常表示画面に戻ります。
- [戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。

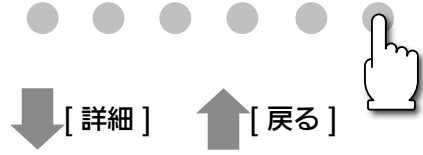


参考

[次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りをします。

通常表示画面

→ 回収履歴表示 P2	
8月 7日15:54:17	残置回収 7,979円
8月 7日15:22:41	個別回収 11,000円
8月 7日15:18:05	個別回収 290円
8月 7日15:13:54	全回収 405,878円
8月 6日15:41:57	RJ回収
8月 6日09:59:51	個別回収 600円



詳細表示画面

→ 回収履歴表示 P7				
8月 7日15:54:17 残置回収				
万 0	5千 0	2千 0	千 0	RJ 無
500 15	100 4	50 1	10 2	5 1 1 4 RJ 無
8月 7日15:54:03 回収前在高				
万 20	5千 30	2千 0	千 31	RJ 無
500 26	100 30	50 30	10 30	5 30 1 29 RJ 無



■ 取引外履歴

取引と補充以外の入出金（払い出し、両替、戻し入れなど）の記録を表示します（1ページにつき2件）。

- 履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- 前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- [戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。



参考

[次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りをします。

→ 取引外履歴表示 P2				
8月 7日15:48:12	ローカル出金 999円			
万 0	5千 0	2千 0	千 0	RJ 無
500 1	100 4	50 1	10 4	5 1 1 4 RJ 無
8月 6日15:42:07	戻し入れ処理 10,000円			
万 1	5千 0	2千 0	千 0	RJ 無
500 0	100 0	50 0	10 0	5 0 1 0 RJ 無



■ 重要操作履歴

装置に影響をおよぼした事象を表示します。

- 履歴がある場合は、[次ページ]を選択すると、次ページの履歴画面を見ることができます。
- 前ページの履歴画面へ戻る場合は、[前ページ]を選択してください。
- [戻る]を選択すると、履歴選択画面に戻ります。



参考

- [次ページ]、[前ページ]を押し続けると、自動でページ送りをします。
- レジスターなどから確認できる履歴と一部異なる場合があります。これは履歴として表示するデータの加工方法の違いによるものです。

→	重要操作履歴表示	P2
8月 7日15:24:07	硬貨エラー要因解除	
8月 7日15:23:56	硬貨部 閉じる	
8月 7日15:23:55	硬貨部 引き出す	
8月 7日15:23:54	硬貨エラーE 4 3 - 0 8	
8月 7日15:22:41	硬貨在高不確定解除	
8月 7日15:22:41	回収処理	
戻る		前ページ 次ページ

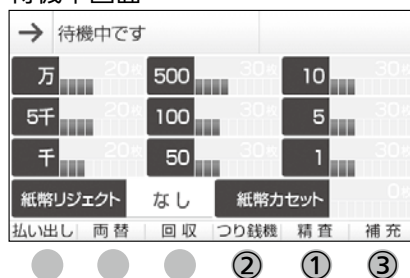


運用設定画面への切り替えかた

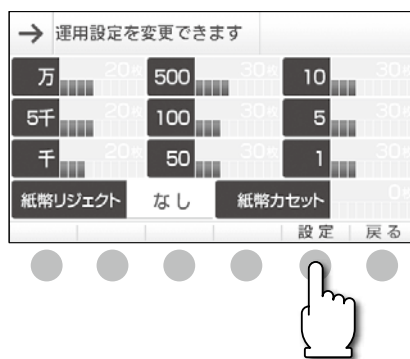
以下の手順に従って、運用設定画面へ切り替えてください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、モード切り替え鍵を「管理」位置に合わせます
右図に示す①のボタンを押しながら、②、③のボタンを押します
状態メッセージに「運用設定を変更できません」と表示され、[設定]が表示されます。

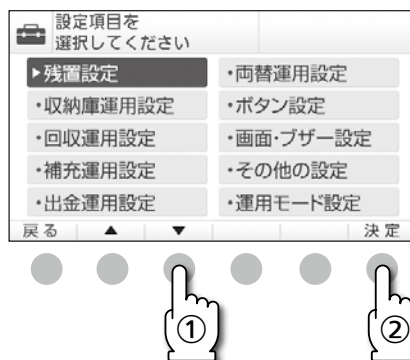
待機中画面



- 2 [設定] を選択します
設定項目選択画面が表示されます。



- 3 [▲]、[▼] で、設定したい項目にカーソルを合わせ (①)、[決定] を選択 (②) します
運用設定を終了する場合は、[戻る] を選択し、待機中画面へ戻ります。



運用設定画面の構成

各設定項目の操作手順は参照ページ（P.xxマーク）を参照してください。



残置設定のしかた

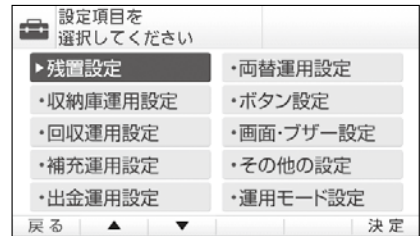
以下の手順に従って、残置設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



運用設定画面への切り替えかたは、[P.71](#)を参照してください。

2 [▲]、[▼]で残置設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します






以降の手順は、「[回収運用設定のしかたの残置回収](#)」[P.82](#)～を参照してください。



残置モードの変更は回収運用設定で変更します。

収納庫運用設定のしかた

収納庫に関する設定が行えます。以下の内容を設定できます。

まもなく不足	収納状態表示で「まもなく不足」の表示を始める枚数を設定します。収納庫の在高が設定値以下になると右図のような表示になります。	
まもなく満杯	収納状態表示で「まもなく満杯」の表示を始める枚数を設定します。収納庫の在高が設定値以上になると右図のような表示になります。	
不足状態通知	収納庫のお金が不足しているときに、お金が不足していることをレジスターなどへ通知する設定です。金種別に設定することができます。収納状態表示の設定には影響しません。	
自動回収基準枚数 (RAD-380 用)	<p>以下の動きを開始する枚数を設定します。</p> <p>①補充中に在高が設定枚数より多くなれば、超過分を自動でカセットへ搬送します。</p> <p>②払い出し後に在高が設定枚数より多ければ超過分を自動でカセットへ回収します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジスターなどから計数や払い出しの指示があった場合、途中で回収を終了します。 ・リジェクト部やカセットが満杯になるときは途中で回収を終了します。 </div>	

以下の手順に従って、収納庫運用設定を行ってください。

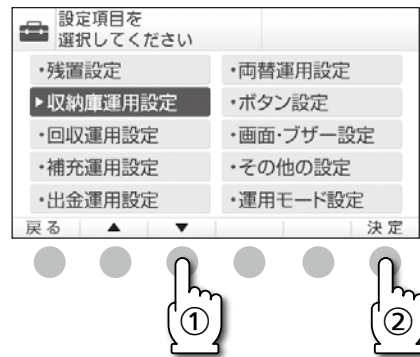
1 運用設定画面に切り替えます



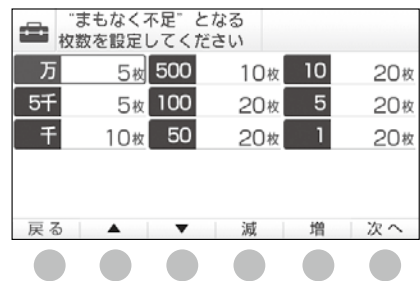
参照

運用設定画面への切り替えかたは、P.71を参照してください。

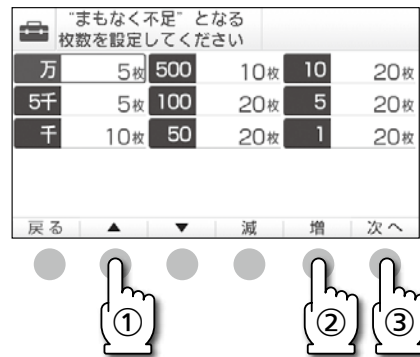
2 [▲]、[▼]で収納庫運用設定を選択し (①)、[決定]を選択 (②) します



3 「まもなく不足となる枚数」、「まもなく満杯となる枚数」、「エンプティ状態通知」、「自動回収基準枚数」の順で設定を変更します

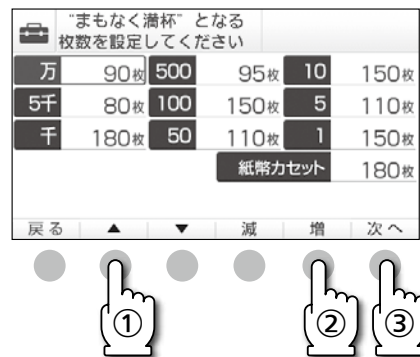


4 まもなく不足となる枚数を設定します [▲]、[▼]で金種を選択 (①) し、設定したい値になるように枚数を [減] または [増] で設定 (②) してください。設定確定後 [次へ] を選択 (③) してください。



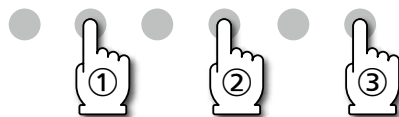
[戻る] を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

5 まもなく満杯となる枚数を設定します [▲]、[▼]で金種を選択 (①) し、設定したい値になるように枚数を [減] または [増] で設定 (②) してください。設定確定後 [次へ] を選択 (③) してください。
("しない" に設定した場合は、「まもなく満杯」の表示はされません。)



6 不足状態通知の設定をします
 [▲]、[▼]で金種を選択(①)し、
 [変更]で設定を切り替えてください。(②)
 設定確定後[次へ]を選択(③)してくだ
 さい。

不足状態通知 を設定してください					
万	する	500	する	10	する
5千	する	100	する	5	する
千	する	50	する	1	する
戻る ▲ ▼ 変更▶ 次へ					



7 自動回収基準枚数を設定します
 [▲]、[▼]で金種を選択(①)し、設定
 したい値になるように枚数を[減]または
 [増]で設定(②)してください。
 ("しない"に設定した場合、自動回収は行
 われません。)
 設定確定後[決定]を選択(③)してくだ
 さい。

自動回収基準枚数を 設定してください					
万	20枚				
5千	しない				
千	しない				
戻る ▲ ▼ 減 増 決定					



参考

[増]、[減]は押し続けると、
 加減単位が±10となります。

8 確認メッセージが表示されるので、設
 定内容を確認し、もう一度[決定]を
 選択します

設定が変更され、運用設定画面に戻ります。
 [決定]を選択する前に[戻る]を選択する
 と、設定は変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか?					
万	20枚				
5千	しない				
千	しない				
戻る 決定					



回収運用設定のしかた

以下の手順に従って、回収運用設定を行ってください。

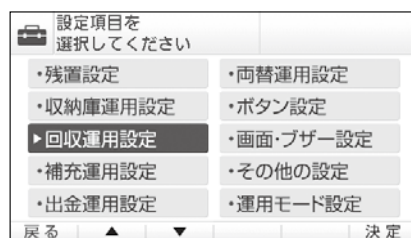
1 運用設定画面に切り替えます



参照

運用設定画面への切り替えかたは、[P.71](#)を参照してください。

2 [▲]、[▼]で回収運用設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します



3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択(①)し、[変更]を選択(②)します 各項目の詳細設定が表示されるので、それぞれ設定してください。

回収内容・・・[P.78](#)

途中回収・・・[P.80](#)

残置回収・・・[P.82](#)

個別回収・・・[P.86](#)

紙幣回収先・・・[P.88](#)



■ 回収内容

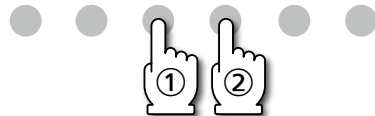
各回収機能の有効、無効を設定できます。

1 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
①し、[変更]を選択②します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

回収処理内容を 設定してください	
全回収	有効▶
途中回収	無効
個別回収	有効
残置回収	有効

戻る ▲ ▼ 変更▶ 決定



設定内容

全回収	無効 有効
回収内容選択画面での [全回収]、[硬貨のみ全回収]、[紙幣のみ全回収]の有効、無効を設定します。	

途中回収	無効 有効
回収内容選択画面での [途中回収]の有効、無効を設定します。	

個別回収	無効 有効
回収内容選択画面での [個別回収]の有効、無効を設定します。	



注意

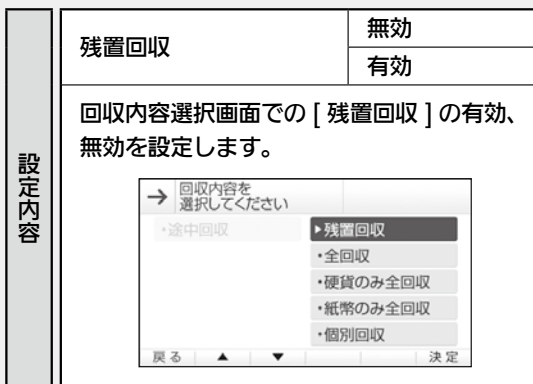
[途中回収]は有効に設定しても途中回収開始条件を満たしていない場合は選択できません。



参照

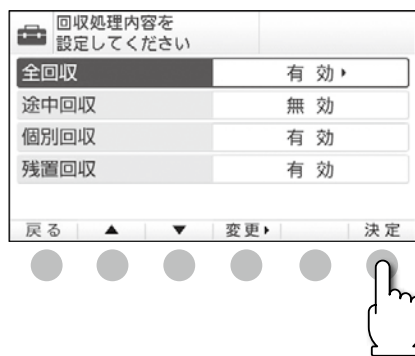
途中回収開始条件の詳細は、**P.80**を参照してください。

次ページへ ▶▶▶



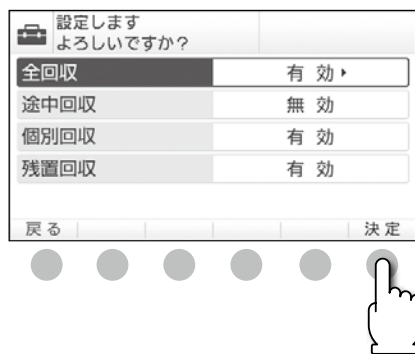
注意 [残置回収] は有効に設定しても設定により在高不確定時は選択できない場合があります。詳細は、**P.82** を参照してください。

2 [決定] を選択します



3 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定値が変更され、運用設定画面に戻ります。[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定値が変更されずに、前画面に戻ります。

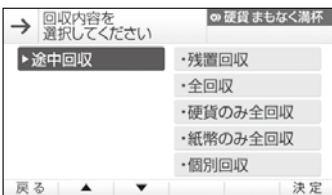


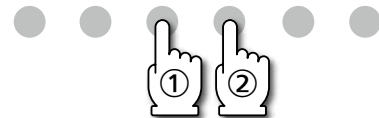
■ 途中回収

途中回収について設定できます。

1 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択(①)し、[変更]を選択(②)します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

設定内容	途中回収	無効 有効
	回収内容選択画面での[途中回収]の有効、無効を設定します。	
		
	途中回収開始条件	収納庫上限枚数から まもなく満杯枚数から
	途中回収パターン (RT-380用)	まもなく満杯枚数-1まで 固定枚数
	途中回収で回収する枚数を設定します。	
	硬貨固定枚数 (RT-380用)	1 ~ 160枚

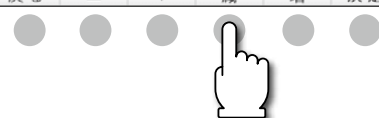
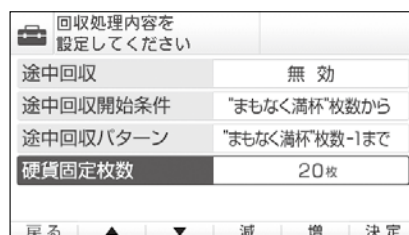


注意 [途中回収]は有効に設定しても途中回収開始条件を満たしていない場合は選択できません。

注意 途中回収パターンが固定枚数の場合、硬貨固定枚数の設定値分回収されます。

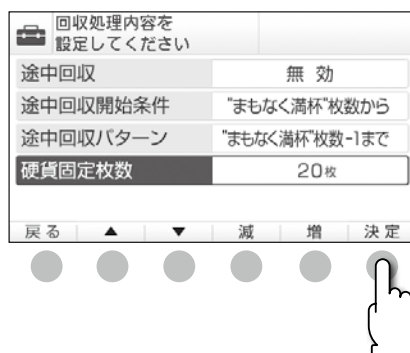
2 硬貨固定枚数を選択した場合は、[減]、[増]で枚数を設定します

参考 [増]、[減]は押し続けると、加減単位が±10となります。



次ページへ ▶▶▶

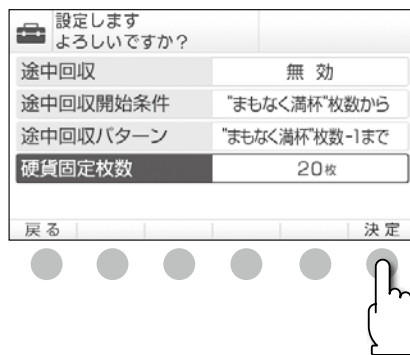
3 [決定] を選択します



4 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。

[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定は変更されずに、前画面に戻ります。

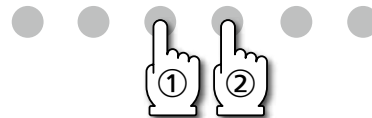


■ 残置回収

残置回収について設定できます。

1 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択 (①) し、[変更]を選択 (②) します [変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。



設定内容	残置回収	無効	
		有効	
	回収内容選択画面での [残置回収] の有効、無効を設定します。		
	硬貨残置モード (RT-380 用)	全残置	
		連動残置 (自動で紙幣残置モードが連動残置になります)	
		金額残置	
		枚数残置	
	硬貨の残置の方法を設定します。		
	紙幣残置モード (RAD-380 用)	全残置	
金額残置			
枚数残置			
紙幣の残置の方法を設定します。			
包装硬貨連動残置 (WD 用)	なし		
	あり		
包装硬貨も含めた残置をするかを設定します。			
在高不確定時の回収	許可		
	禁止		
在高不確定状態での残置を許可するかを設定します。			

2 [決定]を選択します

次ページへ ▶▶▶

3 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

※硬貨残置モード、紙幣残置モードの設定を現在の設定から、連動残置、金額残置、枚数残置へ変更した場合は引き続き残置に関する設定を行います。

● 連動残置、金額残置へ変更した場合

1. 残置金額の設定

[←]、[→] で桁を移動 (①)、[減]、[増] で金額の増減 (②) を行います
前画面に戻る場合は [戻る] を、次の設定に進む場合は [次へ] を選択 (③) してください。

[戻る] を選択すると、設定した値はクリアされます。

2. 金種別優先度の設定

優先順位の高い金種から順に枚数を多く残します。

[▲]、[▼] で設定したい金種を選択 (①) し、[減]、[増] で優先度の設定 (②) をします

前画面に戻る場合は [戻る] を、次の設定に進む場合は [次へ] を選択 (③) してください。

※この段階での設定は仮決定の状態です。

設定します よろしいですか?	
残置回収	有効▶
硬貨残置モード	金額残置
紙幣残置モード	金額残置
包装硬貨連動残置	なし
在高不確定時の回収	許可
戻る	決定



残置金額を 設定してください	
残置金額	0.000円
戻る	← → 減 増 次へ



金種別優先度 (1か高) を 設定してください					
万	10	500	6	10	1
5千	8	100	2	5	5
千	7	50	4	1	3
戻る	▲ ▼	減 増	次へ		



3. 残置基準値の設定

残置基準値に近づけて回収します。
少なくとも残置基準値以上残すようになります。

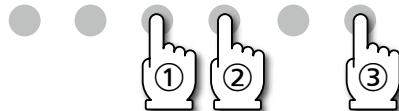
[▲]、[▼]で設定したい金種を選択
(①)し、[減]、[増]で枚数の設定(②)
をします

前画面に戻る場合は[戻る]を、次の設定
に進む場合は[次へ]を選択(③)してく
ださい。

※この段階での設定は仮決定の状態です。

残置基準値を 設定してください						
万	0枚	500	10枚	10	50枚	
5千	10枚	100	50枚	5	20枚	
千	50枚	50	20枚	1	50枚	

戻る ▲ ▼ 減 増 次へ



設定と残置される枚数について (例)							
残置金額：10000 円							
設定	金種	1 円	5 円	10 円	50 円	100 円	500 円
	収納庫在高	50 枚	50 枚	50 枚	50 枚	50 枚	50 枚
	優先順位	3	5	1	4	2	6
	残置基準値	50 枚	20 枚	50 枚	20 枚	50 枚	10 枚
残置枚数	金種	1 円	5 円	10 円	50 円	100 円	500 円
	残置枚数	50 枚	20 枚	50 枚	27 枚	50 枚	6 枚



注意

残置枚数について
設定した残置基準値を残置枚数
として残しますが、以下の要素
により、残置枚数が残置基準値
と異なる場合があります。

- ・ 設定した残置金額
- ・ 設定した優先順位
- ・ 収納庫在高が残置基準値を下回る場合
- ・ 紙幣リジェクトがある場合、もしくは回収中に紙幣リジェクトが発生した場合

次ページへ ▶▶▶

● 枚数残置へ変更した場合

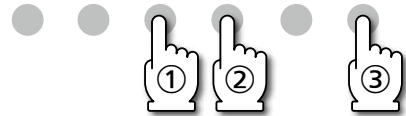
[▲]、[▼]で設定したい金種を選択
(①)し、[減]、[増]で枚数の設定(②)
をします

前画面に戻る場合は[戻る]を、次の設定
に進む場合は[決定]を選択(③)してく
ださい。

※この段階での設定は仮決定の状態です。

[戻る]を選択すると、①～③で設定した値
はクリアされます。

残置枚数を 設定してください					
万	0枚	500	50枚	10	50枚
5千	10枚	100	50枚	5	50枚
千	80枚	50	50枚	1	50枚
残置金額					163,300円
戻る		▲ ▼		減	増 決定



4 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度[決定]を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。

[決定]を選択する前に[戻る]を選択すると、設定は変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか？					
万	0枚	500	50枚	10	50枚
5千	10枚	100	50枚	5	50枚
千	80枚	50	50枚	1	50枚
残置金額					163,300円
戻る					決定



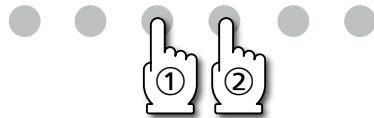
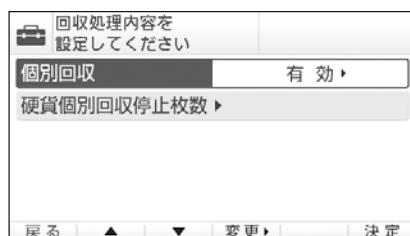
■ 個別回収

個別回収について設定できます。

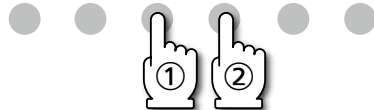
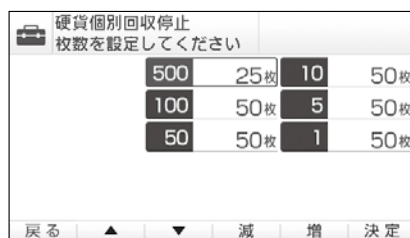
1 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択 (①) し、[変更]を選択 (②) します [変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

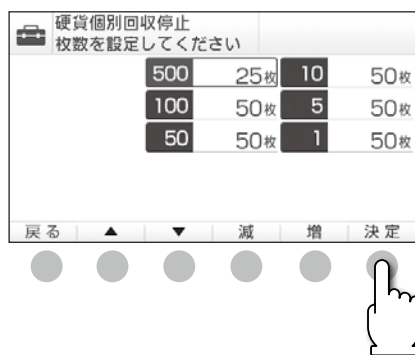
設定内容	個別回収	無効
		有効
	回収内容選択画面での [個別回収] の有効、無効を設定します。	
硬貨個別回収停止枚数 (RT-380 用)		
硬貨の個別回収はこの設定値分を回収すると回収を一時停止できます。		



2 硬貨個別回収停止枚数を選択する場合は、[▲]、[▼]で設定したい金種を選択 (①) し、[減]、[増]で枚数の設定 (②) をします



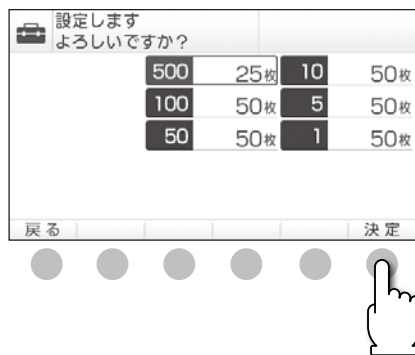
3 [決定] を選択します



4 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。

[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定は変更されずに、前画面に戻ります。



■ 紙幣回収先

紙幣の回収先について設定できます。
(RAD-380 用)

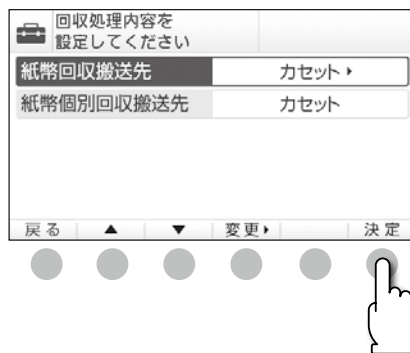
- 1** [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
(①)し、[変更]を選択(②)します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

設定内容	紙幣回収搬送先	カセット 払い出し部
	個別回収以外で回収した紙幣の搬送先を設定します。	
	紙幣個別回収搬送先	カセット 払い出し部
	個別回収で回収した紙幣の搬送先を設定します。	

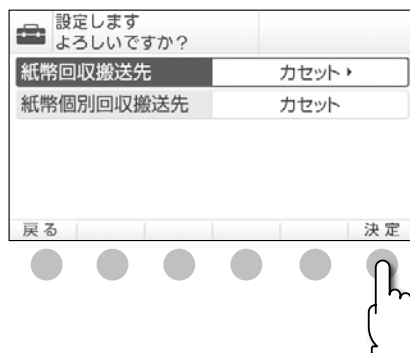


- 2** [決定]を選択します



- 3** 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度[決定]を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定]を選択する前に[戻る]を選択すると、設定は変更されずに、前画面に戻ります。



補充運用設定のしかた

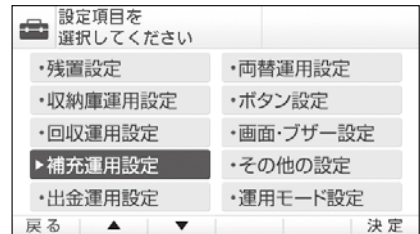
以下の手順に従って、補充運用設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



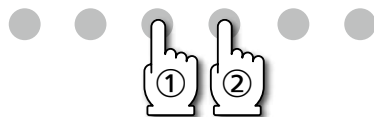
運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

2 [▲]、[▼]で補充運用設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します



3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
(①)し、[変更]を選択(②)します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。



設定内容

補充ボタン	無効
	有効
	在高表示中のみ有効
<p>待機中画面、収納在高表示画面での [補充] の有効、無効を設定します。</p>	
<p>※つり銭機モード時は強制的に有効設定になります。</p>	

紙幣リジェクト搬送先 (RAD-380用)	払い出し部
	リジェクト部
<p>取り込んだ紙幣がリジェクト紙幣だった場合の搬送先を設定します。 ※現金管理機モード時は強制的に払い出し部設定になります。</p>	
補充上限設定 (RT-380用)	"満杯"枚数まで
	"まもなく満杯"枚数まで
<p>最大で補充できる枚数を設定できます。</p>	
万券補充ブザー音 (RAD-380用)	無効
	有効
<p>万円補充時のブザー音の有効 / 無効を設定します。</p>	

注意

収納庫の在高が「まもなく満杯枚数」より多い状態で補充上限設定を「まもなく満杯枚数まで」に設定変更した場合、回収したお金を再度補充するという処理ができなくなります。

補充運用設定のしかた

日常の操作

次ページへ ▶▶▶

4 [決定] を選択します

補充処理内容を 設定してください	
補充ボタン	有効▶
紙幣リジェクト搬送先	払い出し部
補充上限設定	“満杯”枚数まで
万券補充ブザー音	無効

戻る ▲ ▼ 変更▶ 決定



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

補充処理内容を 設定してください	
補充ボタン	有効▶
紙幣リジェクト搬送先	払い出し部
補充上限設定	“満杯”枚数まで
万券補充ブザー音	無効

戻る ▲ ▼ 変更▶ 決定



出金運用設定のしかた

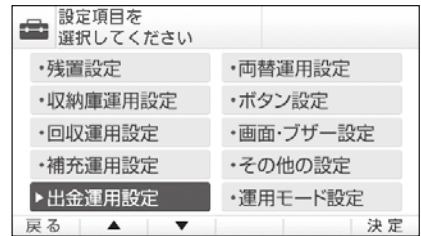
以下の手順に従って、出金運用設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

2 [▲]、[▼]で出金運用設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します

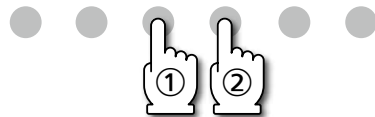


次ページへ ▶▶▶

3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
 (①)し、[変更]を選択(②)します
 [変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

※払い出しパターンを選択した場合のみ設定方法が異なります。
 下記内容を参照してください。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

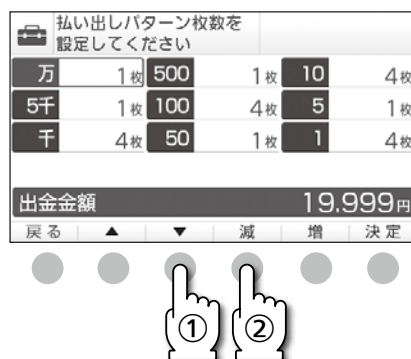


払い出しボタン	無効
	有効
	管理のみ有効
<p>待機中画面での [払い出し] の有効、無効を設定します。管理のみ有効を設定した場合、モード切り替え鍵を「管理」位置に合わせたときのみ有効になります。</p>	
払い出しパターン	
払い出し時の払い出し枚数を設定します。	
紙幣出金優先設定	高額券
	低額券
<p>出金するお金の並びを設定します。 高額券：使用者から見て、下側に高額券がそろいます。 低額券：使用者から見て、下側に低額券がそろいます。</p>	

払い出しパターンを選択した場合は、
[▲]、[▼]で設定したい金種を選択
(①)し、[減]、[増]で枚数の増減(②)
を行います



[増]、[減]は押し続けると、
加減単位が±10となります。

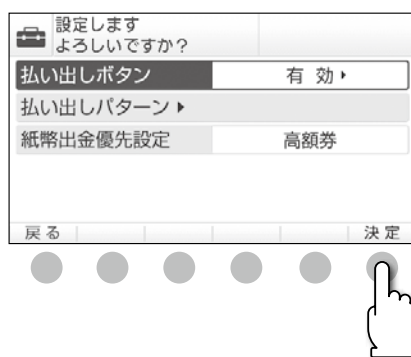


4 [決定]を選択します



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度[決定]を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定]を選択する前に[戻る]を選択すると、
設定が変更されずに、前画面に戻ります。



両替運用設定のしかた

以下の手順に従って、両替運用設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

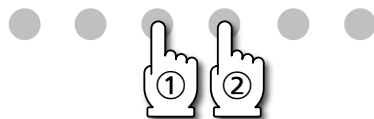
2 [▲]、[▼]で両替運用設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します



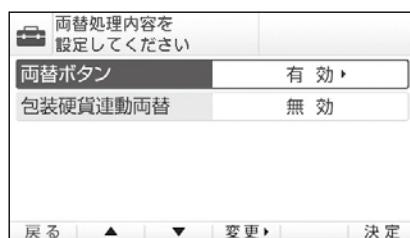
3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択 (①) し、[変更]を選択 (②) します [変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

設定内容	両替ボタン	無効
		有効
	待機中画面での [両替] の有効、無効を設定します。	
	包装硬貨連動両替 (WD用)	無効
		有効
	包装硬貨を両替対象にするかを設定します。	



4 [決定]を選択します



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか?	
両替ボタン	有効 ▶
包装硬貨連動両替	無効

戻る 決定



ボタン設定のしかた

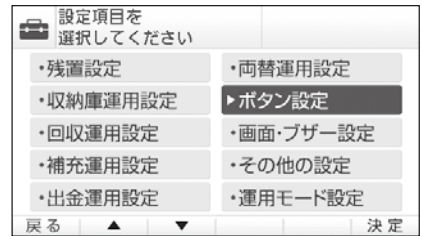
以下の手順に従って、ボタン設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



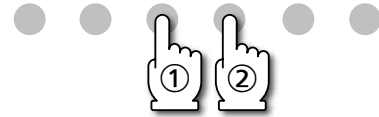
運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

2 [▲]、[▼]でボタン設定を選択 (①) し、[決定]を選択 (②) します



3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
(①)し、[変更]を選択(②)します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。



設定内容

補充ボタン	無効
	有効
	在高表示中のみ有効

待機中画面、収納在高表示画面での [補充] の有効、無効を設定します。

→ 待機中です

万	20	500	30	10	30
5千	20	100	30	5	30
千	20	50	30	1	30

紙幣リジェクト なし 紙幣カセット

払い出し 再替 回収 つり銭機 精査 補充

→ 収納在高表示

万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	30枚	100	30枚	5	30枚
千	30枚	50	30枚	1	30枚

紙幣リジェクト なし 紙幣カセット 20枚

総計金額 439,980円

戻る 交代 履歴 カセット 設定 補充

※つり銭機モード時は強制的に有効設定になります。

回収ボタン	無効
	有効

待機中画面での [回収] の有効、無効を設定します。

→ 待機中です

万	20	500	30	10	30
5千	20	100	30	5	30
千	20	50	30	1	30

紙幣リジェクト なし 紙幣カセット

払い出し 再替 回収 つり銭機 精査 補充

注意 回収ボタンを無効にすると [回収] が表示されないので、回収運用設定にて各回収を有効設定にした場合でも回収処理ができません。

設定内容

払い出しボタン	無効
	有効
	管理のみ有効

待機中画面での [払い出し] の有効、無効を設定します。



両替ボタン	無効
	有効

待機中画面での [両替] の有効、無効を設定します。



4 [決定] を選択します



次ページへ ▶▶▶

5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか？	
補充ボタン	有効 ▶
回収ボタン	有効
払い出しボタン	無効
両替ボタン	有効

戻る 決定



画面・ブザー設定のしかた①

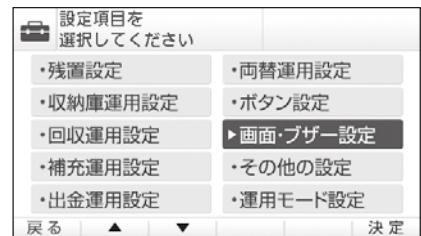
以下の手順に従って、画面・ブザー設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。


2 [▲]、[▼]で画面・ブザー設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します



次ページへ ▶▶▶

3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択
(①)し、[変更]を選択(②)します
[変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

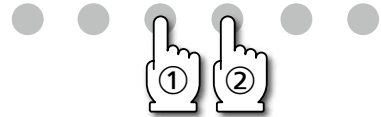
設定内容	ブザーボリューム	
	消音 → 小 → 中 → 大	
	ブザー音	高音 低音
	ブザーパターン	通常 短縮
画面明るさ		
暗い  明るい		
1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6 ▶ 7 ▶ 8 ▶ 9 ▶ 10		



参考

エラー発生時に鳴るブザーなどは、通常に設定している場合ずっと鳴り続けますが、短縮に設定すると一定時間で止めることができます。

画面・ブザー内容を 設定してください	
ブザーボリューム	中 ▶
ブザー音	高音
ブザーパターン	通常
画面明るさ	6
戻る	▲ ▼ 変更 ▶ 決定



4 [決定]を選択します

画面・ブザー内容を 設定してください	
ブザーボリューム	中 ▶
ブザー音	高音
ブザーパターン	通常
画面明るさ	6
戻る	▲ ▼ 変更 ▶ 決定



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか？	
ブザーボリューム	中 ▶
ブザー音	高音
ブザーパターン	通常
画面明るさ	6
戻る	決定



その他の設定のしかた

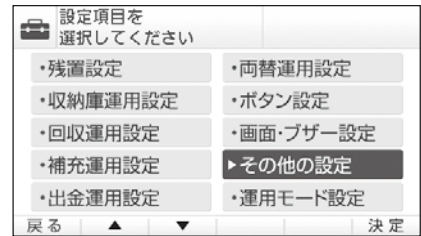
以下の手順に従って、その他の設定を行ってください。

1 運用設定画面に切り替えます



運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

2 [▲]、[▼]でその他の設定を選択(①)し、[決定]を選択(②)します



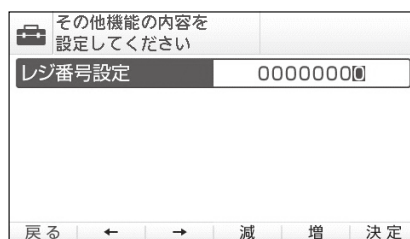
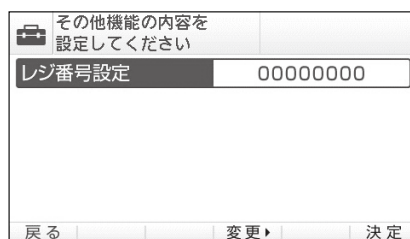
3 [変更] を選択することで、レジ番号設定を変更できます

[戻る] を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。

設定内容	レジ番号設定	任意で 8 桁の数字を設定
	管理用に番号を設定することができます。	

[←]、[→] で桁を移動 (①) し、[減]、[増] で数字の増減 (②) を行います

[戻る] を選択すると、設定した値はクリアされます。



4 [決定] を選択します



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。

[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。



運用モード設定のしかた

運用モードには、つり銭機モード、預かり金計数モード、現金管理機モードの3つのモードがあります。

各モードの内容をご確認いただき、以下の手順に従って、運用モードの設定を行ってください。

● つり銭機モード

- 運用の流れ
- ①商品登録し、お客様から受け取ったお金をレジスターなどに入力します。
 - ②レジスターなどからの指示により、つり銭を払い出しますのでつり銭をお客様にお渡しください。
 - ③お客様から受け取ったお金を本製品に投入します。

● 預かり金計数モード、現金管理機モード

- 運用の流れ
- ①商品登録し、お客様から受け取ったお金を本製品にて計数します。
(計数データがレジスターなどに反映されます)
 - ②レジスターなどからの指示により、つり銭を払い出しますのでつり銭をお客様にお渡しください。

運用モードによる操作の違い				
動作	モード	つり銭機モード	預かり金計数モード	現金管理機モード
補充のしかた		自動で取り込みます。 P.42 参照	[補充] を押します。 P.43 参照	[補充] を押します。 P.43 参照
預かり金計数のしかた			P.46 参照	P.46 参照
在高不確定状態の解除のしかた		回収をします。 P.57 参照	回収をします。 P.57 参照	回収・戻し入れをします。 P.119 参照



注意

在高がある状態もしくは在高不確定状態のときは、預かり金計数モード、またはつり銭機モードから、現金管理機モードへの変更はできません。また、現金管理機モードから、預かり金計数モードとつり銭機モードへの変更はできません。

1 運用設定画面に切り替えます

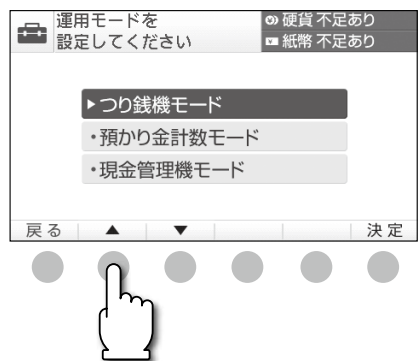


運用設定画面への切り替えかたは、**P.71**を参照してください。

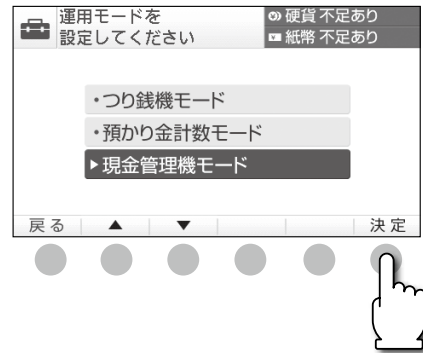
2 [▲]、[▼]で運用モード設定を選択 (①) し、[決定]を選択 (②) します



3 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択 します

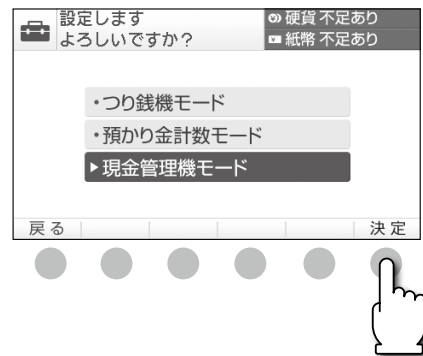


4 [決定] を選択します



5 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。



画面・ブザー設定のしかた②

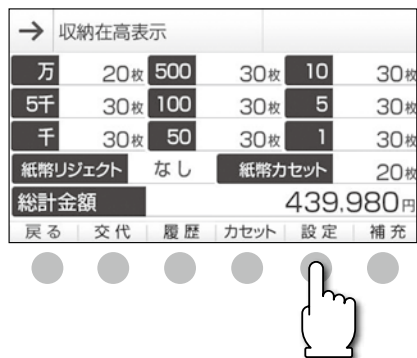
以下の手順に従って、画面・ブザー設定を行ってください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、
[つり銭機] を選択します
収納在高表示画面が表示されます。

待機中画面



- 2 収納在高表示画面から [設定] を選択
します
設定画面が表示されます。



3 [▲]、[▼]で実行したい項目を選択 (①) し、[決定]を選択 (②) します

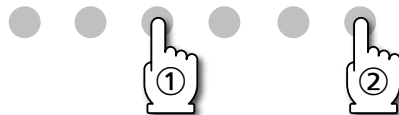


エラー解除体験は、モード切り替え鍵を「管理」位置にしたときに選択可能となります。

画面・ブザー設定 P.112

製品情報 P.113

エラー解除体験 P.114

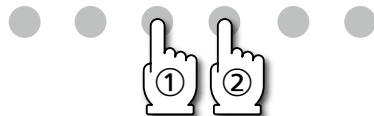


■ 画面・ブザー設定

ブザー・画面内容について設定できます。

1 [▲]、[▼]で設定したい項目を選択 (①) し、[変更]を選択 (②) します [変更]を押すごとに設定内容が切り替わります。

[戻る]を選択すると、変更した内容は、リセットされ、前画面へ戻ります。



2 [決定]を選択します

※設定できる内容は、画面・ブザー設定のしかた① (P.103 手順 3) と同じです。



次ページへ ▶▶▶

3 確認メッセージが表示されるので、設定内容を確認し、もう一度 [決定] を選択します

設定が変更され、前画面に戻ります。
[決定] を選択する前に [戻る] を選択すると、設定が変更されずに、前画面に戻ります。

設定します よろしいですか?	
ブザーボリューム	中 ▶
ブザー音	高音
ブザーパターン	通常
画面明るさ	6
戻る	決定



■ 製品情報

お使いいただいている製品の情報を確認することができます。

製品情報表示		
・硬貨つり銭機	RT-380	接続
・紙幣つり銭機	RAD-380	接続
・包装硬貨管理機	WD-300	接続
・運用モード	預かり金計数モード	
・レジ番号	00000000	
戻る		



■ エラー解除体験

エラー解除を練習することができます。

- 1 エラー解除体験開始画面になります
お金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れて、[実行]を選択してください。



注意

エラー解除体験開始画面で無操作時間が1分を超えると、待機中画面に自動で戻ります。



✕ エラー解除体験が できません					
万	0枚	500	0枚	10	0枚
5千	0枚	100	0枚	5	0枚
2千	0枚	50	0枚	1	0枚
千	0枚				
入金金額					0円
戻る					実行



- 2 お金を取り込まれ、擬似エラーになります



参考

収納庫に入る前に擬似エラーになるので在 high に影響はありません。

🔄 計数後エラーになります		📄 硬貨入信中
下図の様なものは入れないでください		
🌀 キズ変形硬貨	📄 異物付着硬貨	📄 クリップ
📄 紙	📄 折曲げ紙幣	📄 破れ紙幣
📄 テープ貼り紙幣	📄 ホチキス	📄 レシート
入金金額		0円



次ページへ ▶▶▶

3 ガイドンスに従い、エラーを解除します



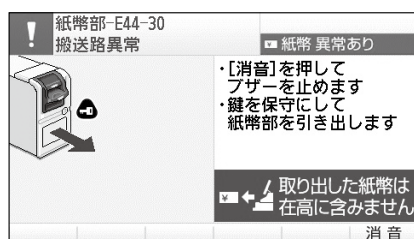
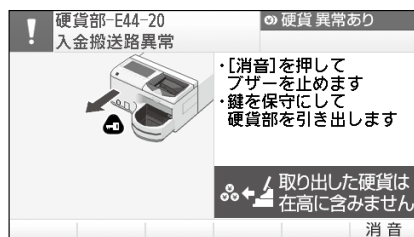
参照

エラー解除の詳細については、
[P.141] を参照してください。



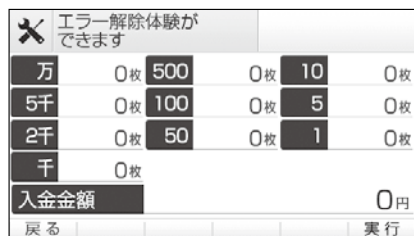
注意

ここで発生する E44-20 エラー
と E44-30 エラーは擬似エラー
なので、装置に影響はありません。



4 エラー解除が成功すると、エラー解除体験開始画面に戻ります

エラー解除体験を終了するときは、[戻る]を選択してください。



在高不確定状態の確認のしかた

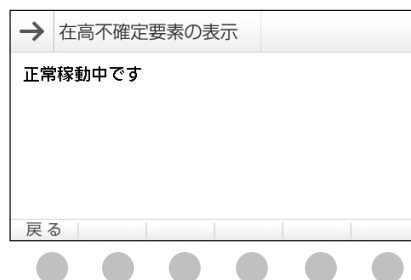
在高データ（装置が記憶している収納枚数）が正常であることを確認することができます。
以下の手順に従って、在高データを確認してください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、
[精査] を選択します
在高不確定要素の表示画面が表示されます。

待機中画面



- 2 在高データが正常な場合は右図のよう
に表示されます
在高データが正常ではない場合は、「在高不
確定状態の解除のしかた」[P.117](#)を参照して
ください。



在高不確定状態の解除のしかた

以下の要因で在高データ（装置が記憶している収納枚数）が不確定な場合があります。

- ・ 計数時の選別不良や払い出し時に詰まりが発生した場合
- ・ 払い出し時にリジェクト紙幣が発生した場合
- ・ 収納部を開いた場合（エラー解除で収納部を開くように指示された場合は除く）

在高不確定状態を解除するためには、

- ・ 在高不確定状態の金種を一度回収して再度計数する
- ・ お金を戻し入れする

といった操作が必要になります。

以下の手順に従って、在高不確定状態を解除してください。

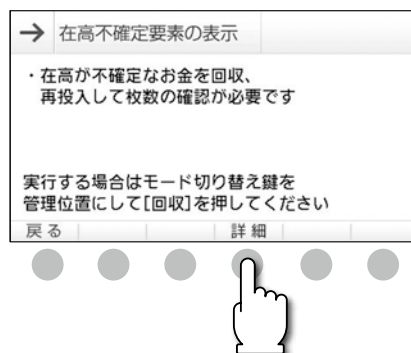
1 装置が待機中であることを確認し、
[精査] を選択します
在高不確定要素の表示画面が表示されます。

※在高不確定状態の場合、[精査] の色が
橙色になります。

待機中画面




2 在高不確定状態の解除方法が表示され
ます
[詳細] を選択すると、在高不確定金種を確
認することができます。



3 モード切り替え鍵を「管理」位置にします

4 解除方法に対応したボタンが表示されるので選択します

 **参考** 在高不確定金種の表示画面でも選択することができます。

在高不確定金種の表示画面

→ 在高不確定金種の表示					
万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	20枚	100	30枚	5	30枚
千	20枚	50	30枚	1	30枚
紙幣リジェクト	あり		紙幣カセット	0枚	
戻る					



→ 在高不確定要素の表示	
・在高が不確定なお金を回収、再投入して枚数の確認が必要です	
実行する場合はモード切り替え鍵を管理位置にして[回収]を押してください	
戻る	詳細 回収

在高不確定金種の表示画面

→ 在高不確定金種の表示					
万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	20枚	100	30枚	5	30枚
千	20枚	50	30枚	1	30枚
紙幣リジェクト	あり		紙幣カセット	0枚	
戻る					

次ページへ ▶▶▶

5 ガイドンスに従い、解除します

解除方法が戻し入れの場合・・・

1. 画面に表示されている金種のお金を紙幣挿入口および硬貨投入口へ入れると自動で取り込まれます
2. 戻し入れ終了後、[終了] を選択します



重要

戻し入れするお金の不足などで在高不確定状態を解除できないまま終了した場合、以降の解除方法は回収となります。



解除方法が回収の場合・・・



参照

詳細については、**P.57** を参照してください。

交代データの確認のしかた

区間内でのお金の動きを確認することができます。
以下の手順に従って、交代データを確認してください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、
[つり銭機] を選択します
収納在高表示画面が表示されます。

待機中画面

→ 待機中です					
万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	20枚	100	30枚	5	30枚
千	20枚	50	30枚	1	30枚
紙幣リジェクト	なし	紙幣カセット			
払い出し	両替	回収	つり銭機	精査	補充



- 2 収納在高表示画面から [交代] を選択
します
現在区間の交代データが表示されます。

→ 収納在高表示					
万	20枚	500	30枚	10	30枚
5千	30枚	100	30枚	5	30枚
千	30枚	50	30枚	1	30枚
紙幣リジェクト	なし	紙幣カセット	20枚		
総計金額	439,980円				
戻る	交代	履歴	カセット	設定	補充



- 3 [次ページ] を選択すると、前区間の
交代データを表示します

→ 1月17日 19:18~	
1月17日 19:18 (現在)	
開始在高	389,980円
総額入金	0円
総額出金	0円
現在在高	389,980円
在高増減	±0円
異常なし	
戻る	締め
次ページ 詳細	



次ページへ ▶▶▶

[詳細] を選択すると、確認必要項目画面を表示します

→	1月17日 19:18~	
	1月17日 19:18 (現在)	
開始在高	389,980円	
総額入金	0円	
総額出金	0円	
現在在高	389,980円	
在高増減	±0円	
	異常なし	
戻る	締め	次ページ 詳細



[重要操作] を選択すると重要操作履歴を確認できます。

→	1月17日 19:18~	
	1月17日 19:28 (現在)	
・硬貨収納部あける	異常なし	
・紙幣収納部あける	異常なし	
・在高不確定要素	確認必要	
・紙幣リジェクト発生	確認済	
戻る	精査	次ページ 重要操作



確認必要項目は、在高データに影響を与える要素を表示しています。

- ・異常なし（緑色）
区間内で異常は発生していません。
- ・確認済（橙色）
区間内で異常が発生しましたが解除済みです。
- ・確認必要（赤色）
区間内で異常が発生しています。

「確認必要」となっている項目は、重要操作履歴から発生要因を確認し、精査処理で異常を解除してください。



重要

→	重要操作履歴表示	P1
	5月18日10:37:14 硬貨エラー要因解除	
	5月18日10:37:00 補充	
	5月18日10:37:00 硬貨エラー-E 6 1 - 4 1	
	5月18日10:37:00 硬貨在高不確定要素あり	
	5月18日10:36:27 紙幣部 閉じる	
	5月18日10:36:27 紙幣部 引き出す	
戻る		次頁



締めのかた

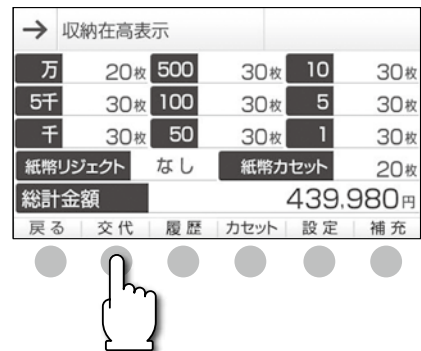
現在区間の交代データを前区間に移行して保存できます。
以下の手順に従って、締めを行ってください。

- 1 装置が待機中であることを確認し、
[つり銭機] を選択します
収納在高表示画面が表示されます。

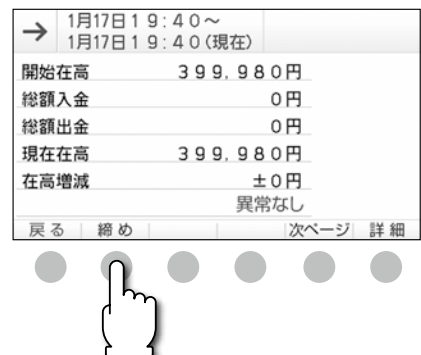
待機中画面



- 2 収納在高表示画面から [交代] を選択
します
現在区間の交代データが表示されます。



- 3 [締め] を選択すると、確認メッセージが表示されます



次ページへ ▶▶▶

4 [決定] を選択すると、現在区間の交代データを前区間に保存します



注意

交代データは現在区間の交代データを含めて最大 24 件保存できます。

→	1月17日19:40~	
	1月17日19:40(現在)	
1月17日19:40~		
1月17日19:40(現在)		
のデータを前区間に移行しますよろしいですか?		
戻る		決定



→	締め確定中です	
1月17日19:40~		
1月17日19:40(現在)		
のデータを前区間に移行しますよろしいですか?		



MEMO

Wavy horizontal lines for writing.

各部の清掃

搬送路、センサーが汚れていると、製品の作動不良の原因となることがあります。

必ず月に1回は、各部の清掃を行ってください。

エアダスターで清掃される場合には、当社推奨のエアダスターをご使用ください。エアダスターについては最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にお問い合わせください。

⚠ 警告	内部を清掃するときは、必ず電源を切ってください。 感電およびケガの原因になることがあります。
	製品の清掃には、可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。
⚠ 注意	製品の清掃には、中性洗剤およびベンジン、シンナー、コンパウンドワックスなどを使用しないでください。製品の変色や破損、作動不良の原因になることがあります。
	センサーをハケなどで清掃するときは、センサー部分にハケの毛先以外の場所が当たらないように注意してください。 センサーに衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。
	清掃道具の汚損・破損が発生した場合は、部品交換（購入）してください。 購入については、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店へご相談ください。



注意

収納庫内部を清掃するときは、全回収で装置内のお金を回収してください。収納部扉を開くと在高不確定となります。



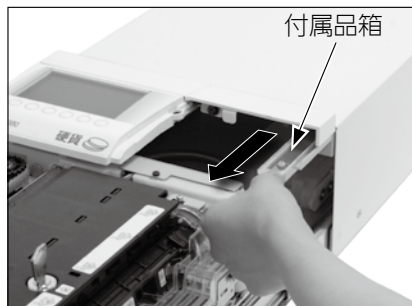
参考

図中の ➡ は、センサーを示しています。

清掃には付属品箱に入っている道具および綿棒などを使用してください。

※付属品箱は RT-380 の装置内にあります。

※綿棒は RAD-380 の付属品です。



必ず当社指定綿棒を使用してください。

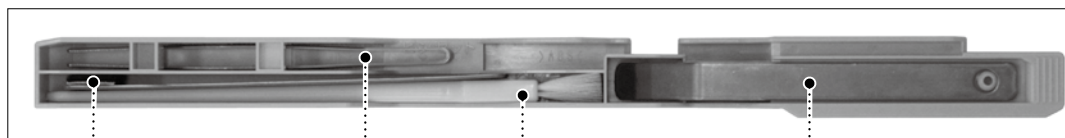
[指定綿棒]

日本綿棒株式会社

紙細軸・工業用綿棒 / P1503E

200 本入り

※指定外の綿棒を使用すると、綿球部が外れ搬送路内に残る可能性がありますので使用しないでください。



清掃道具

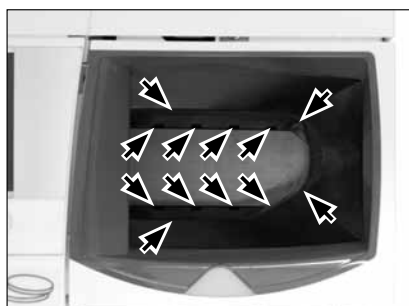
ピンセット

ハケ

金属ヘラ

■ RT-380 投入口センサーの清掃

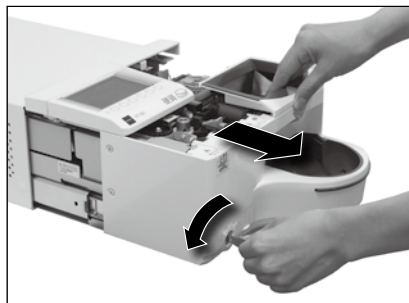
- 1** 投入口センサー（12カ所）を付属のハケで清掃します



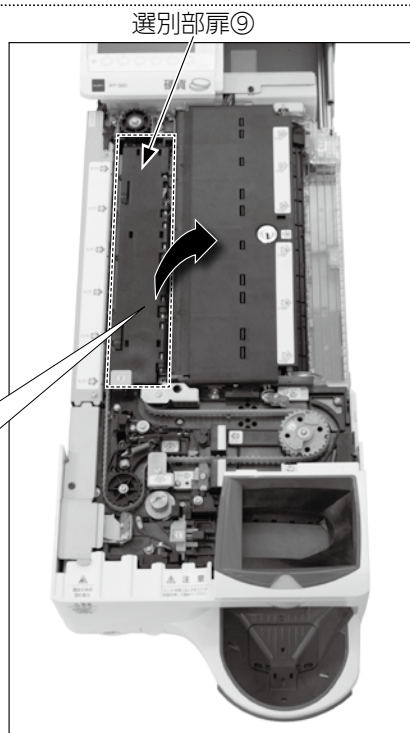
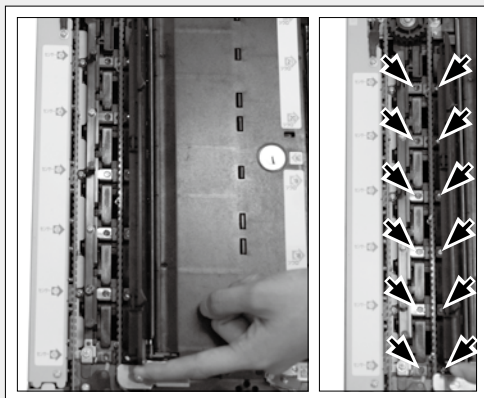
次ページへ ▶▶▶

■ RT-380 搬送路・搬送路センサーの清掃

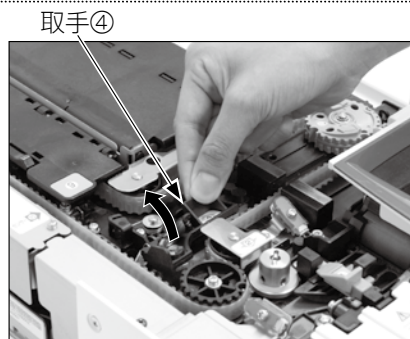
- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



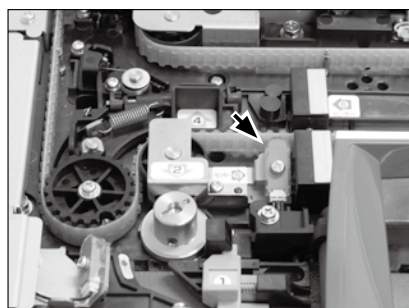
- 2 選別部扉⑨を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます
センサー⑩～⑮表示の矢印の先にあるレンズ（12カ所）を付属のハケで清掃します



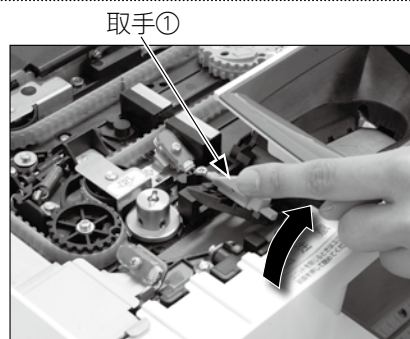
- 3** 取手④を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます



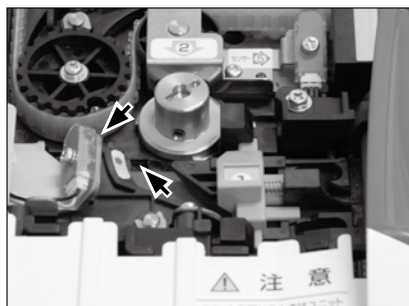
- 4** センサー⑤表示の矢印の先にあるレンズ（上下合わせて2カ所）を付属のハケで清掃します



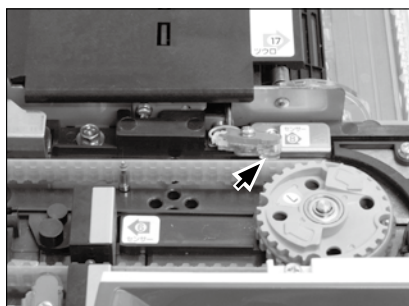
- 5** 取手①を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます



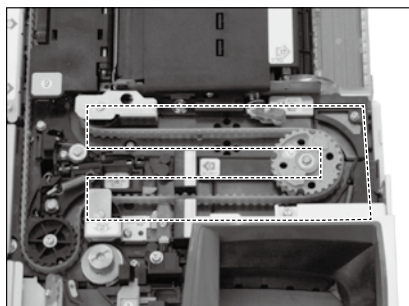
- 6** センサー③表示の矢印の先にあるレンズ（2カ所）を付属のハケで清掃します



- 7** センサー⑧表示の矢印の先にあるレンズ（上下合わせて2カ所）を付属のハケで清掃します



- 8** 搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます

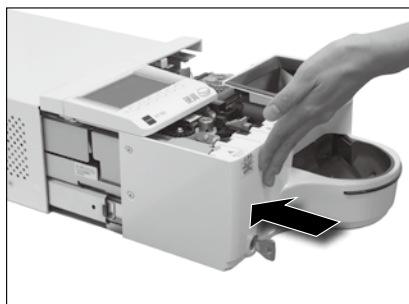


- 9** 清掃終了後、装置内部を閉じます



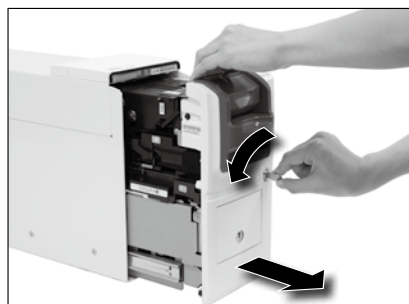
参照

装置内部の閉じかたについては、[P.34](#)を参照してください。

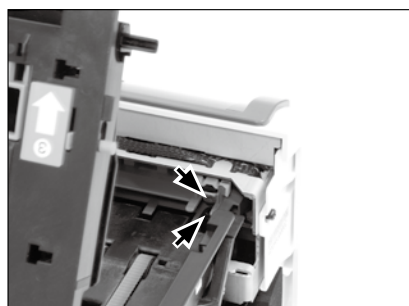


■ RAD-380 挿入口センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



- 2 繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）③を開いて、挿入口センサー（2カ所）を付属のハケで清掃します

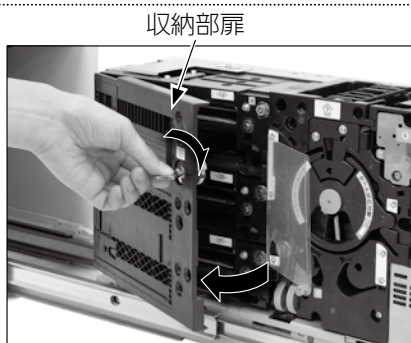


■ RAD-380 収納部センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



- 2 収納部錠を解錠し、収納部扉を開きます



- 3 センサー上に異物がないか確認し、あれば付属のハケやピンセットで取り除きます



- 4 センサー（6カ所）を付属のハケで清掃します



収納庫内部を清掃するときは、全回収で装置内のお金を回収してください。収納部扉を開くと在高不確定となります。

■ RAD-380 搬送路・識別センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します

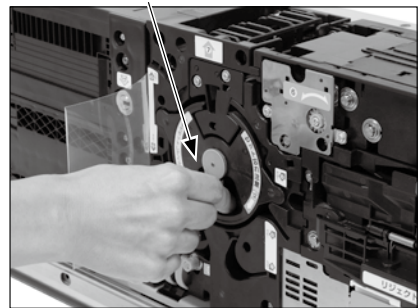


- 2 取り外しガイドを外し、搬送路に異物があれば付属の異物除去シートで取り除きます

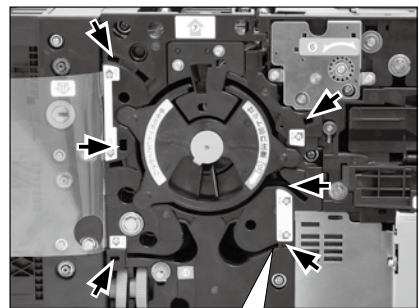


異物除去シートの使いかたについては P.152 を参照してください。

取り外しガイド



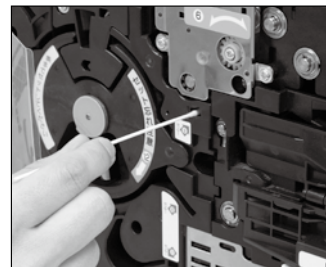
- 3 付属の綿棒で、搬送路センサー（6カ所）を清掃します



⚠ 注意

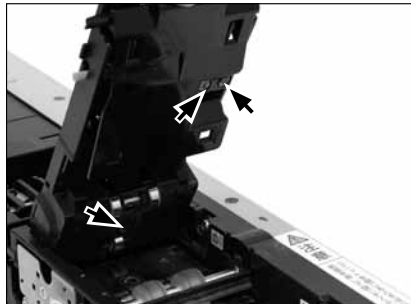
センサーを綿棒などで清掃するときは、センサー部分に綿球以外の所が当たらないように注意してください。

センサーに衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。

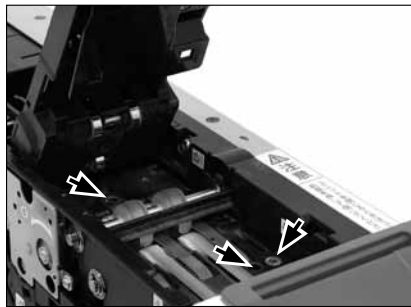


- 4** 繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）
③、搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦を
開き、搬送路と識別部のセンサー（14
カ所）を付属のハケで清掃します

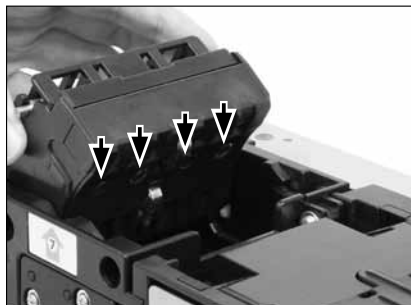
搬送路上側



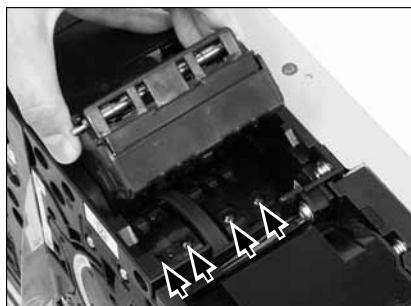
搬送路下側



識別部上側



識別部下側



■ RAD-380 リジェクト部センサーの清掃

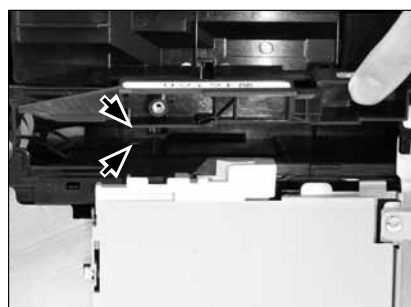
1 リジェクト部を開きます



参照

リジェクト部の開きかたの詳細については、[P.39](#)を参照してください。

2 リジェクト部のセンサー（2カ所）を付属のハケで清掃します



■ RAD-380 払い出し部センサーの清掃

1 払い出し部を開きます



参照

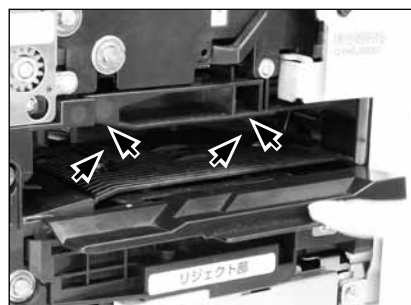
払い出し部の開きかたの詳細については、[P.40](#)を参照してください。

2 払い出し部のセンサー（4カ所）を付属のハケで清掃します



注意

センサーの清掃時、誤ってベルトを外さないように注意してください。

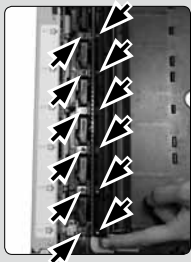


センサー配置図 /RT-380

各センサーの位置と個数は以下のとおりです。

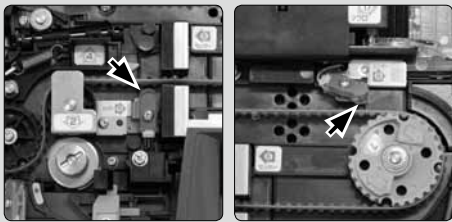
■選別部

- PSC10・・・2カ所
- PSC11・・・2カ所
- PSC12・・・2カ所
- PSC13・・・2カ所
- PSC14・・・2カ所
- PSC15・・・2カ所



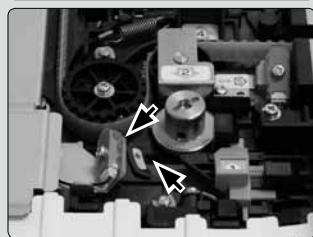
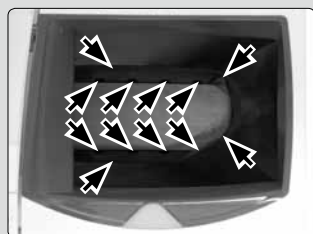
■入金搬送路

- PSC5・・・2カ所
- PSC9・・・2カ所

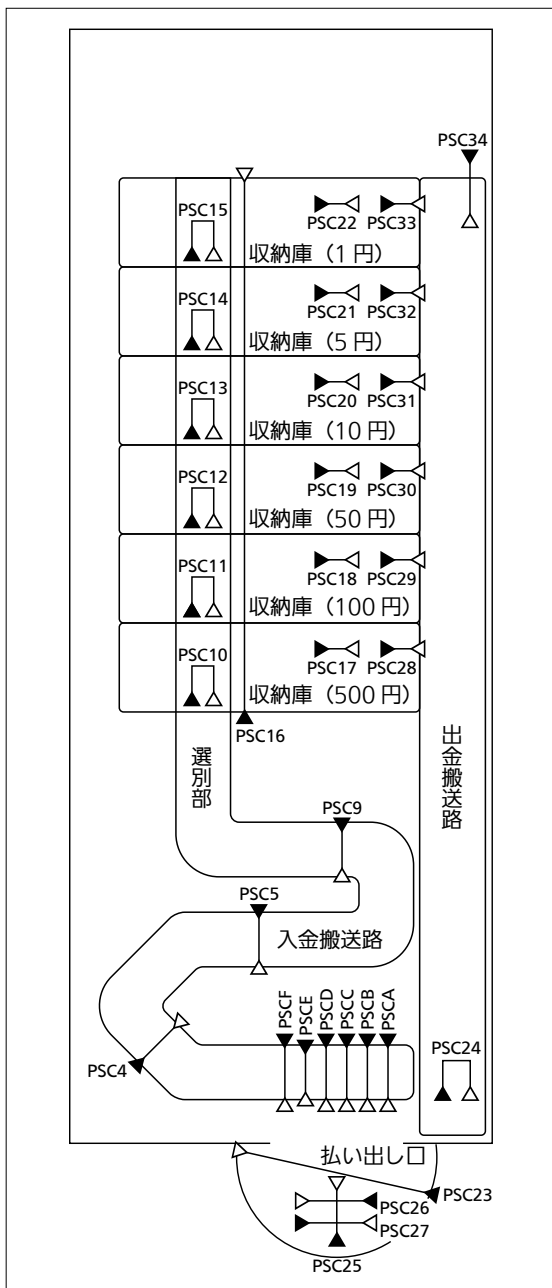


■投入口

- PSCA・・・2カ所
- PSCB・・・2カ所
- PSCC・・・2カ所
- PSCD・・・2カ所
- PSCE・・・2カ所
- PSCF・・・2カ所
- PSC4・・・2カ所

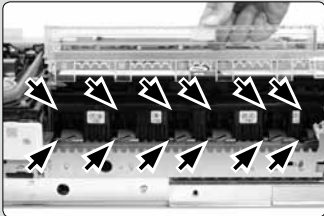


▽：投光側 ▼：受光側

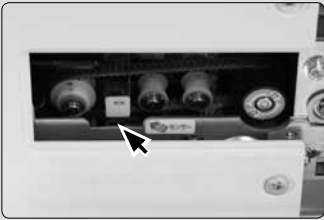


■収納庫

PSC17・・・2カ所	PSC28・・・2カ所
PSC18・・・2カ所	PSC29・・・2カ所
PSC19・・・2カ所	PSC30・・・2カ所
PSC20・・・2カ所	PSC31・・・2カ所
PSC21・・・2カ所	PSC32・・・2カ所
PSC22・・・2カ所	PSC33・・・2カ所



■出金搬送路
PSC24・・・2カ所




センサー配置図 / RAD-380

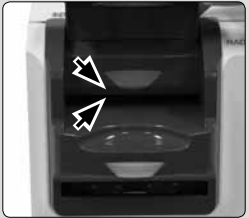
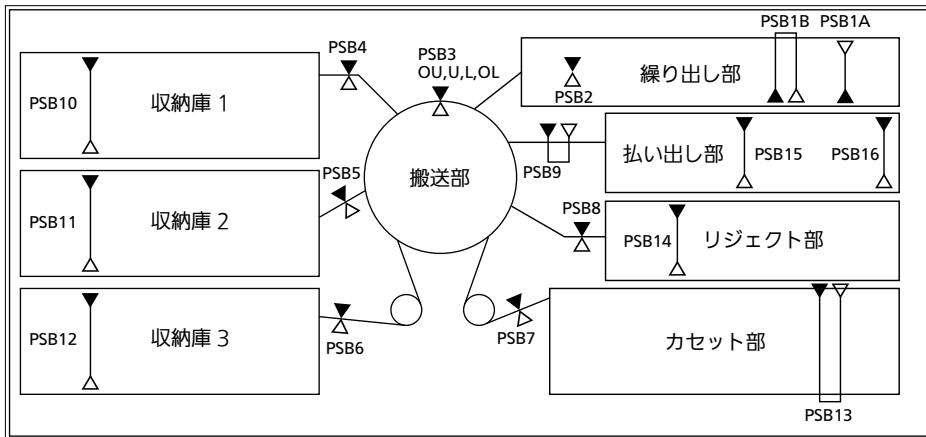
各センサーの位置と個数は以下のとおりです。

▽ : 投光側 ▼ : 受光側

■ 収納部
 PSB10 : 2カ所
 PSB11 : 2カ所
 PSB12 : 2カ所



■ 挿入口
 PSB1A : 2カ所

■ カセット部
 PSB13 : 2カ所



■ 払い出し部
 PSB15 : 2カ所
 PSB16 : 2カ所

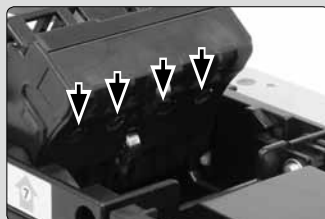


■ リジェクト部
 PSB14 : 2カ所



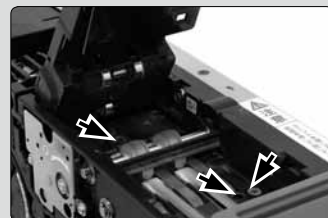
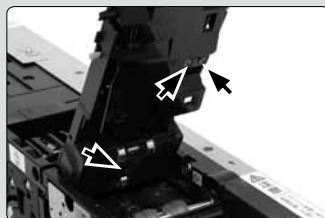
■識別部

- PSB30U : 2カ所
- PSB3U : 2カ所
- PSB3L : 2カ所
- PSB3OL : 2カ所



■繰り出し部

- PSB2 : 2カ所
- PSB1B : 4カ所

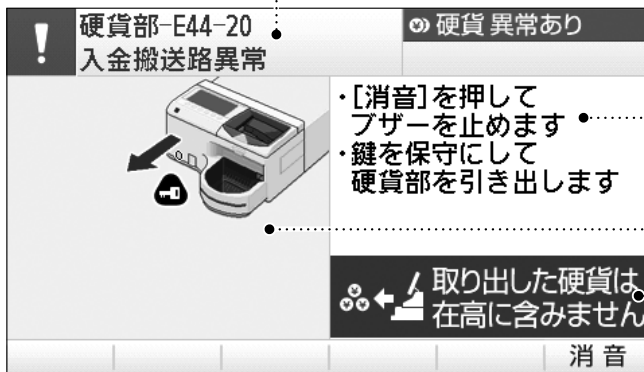


エラーが発生したら

エラーが発生すると、表示部にエラーコード、エラー内容、エラー解除ガイダンスが表示され、ブザーが鳴ります。エラー解除ガイダンス表示に従って、エラーを解除してください。



■ エラー解除画面

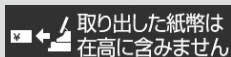


エラー解除手順を
簡条書きで表示します。

エラー解除手順をアニメ
ーションで表示します。

エラー解除時に取り出したお金の取り扱いを表示します。

「取り出した硬貨／紙幣は在高に含みません」と表示された場合



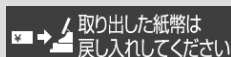
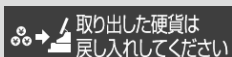
入金、補充時

搬送路に残っているお金は計数が済んでいません。シワや傷みがある場合は取り替えて再計数してください。

出金、回収時

搬送路に残っているお金は出金（回収）済みです。払い出されたお金を確認してください。

「取り出した硬貨／紙幣は戻し入れしてください」と表示された場合



搬送路に残っているお金は収納庫に入っているはずのお金です。戻し入れをして収納庫に戻すか、または別管理するなど定められた運用に従ってください。



参照

戻し入れのしかたは、[P.119](#) を参照してください。

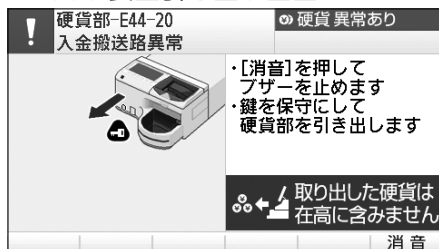
エラーが発生したら

困ったときは！

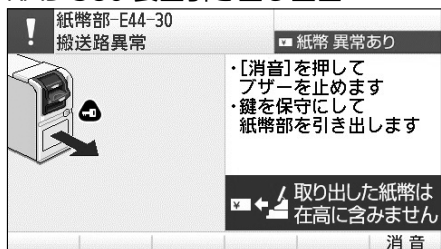
■ エラー解除のしかた

装置を引き出す必要がある場合は、装置引き出し画面になります。

RT-380 装置引き出し画面



RAD-380 装置引き出し画面



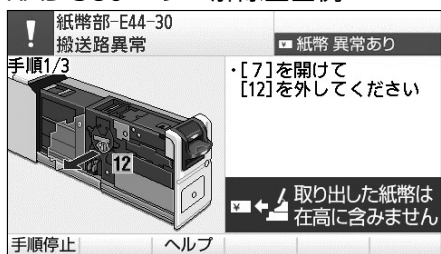
エラー解除画面になります。

画面の点滅部がエラー発生箇所です。エラー解除手順に従って、解除してください。

RT-380 エラー解除画面例



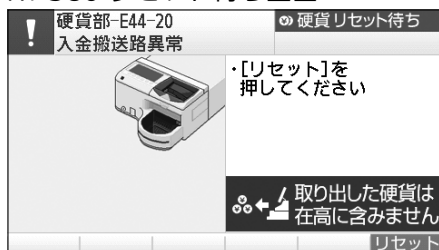
RAD-380 エラー解除画面例



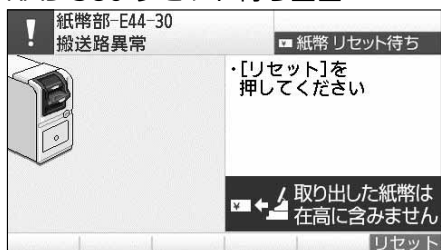
エラー解除が完了するとリセット待ち画面になります。

[リセット] を選択します。

RT-380 リセット待ち画面

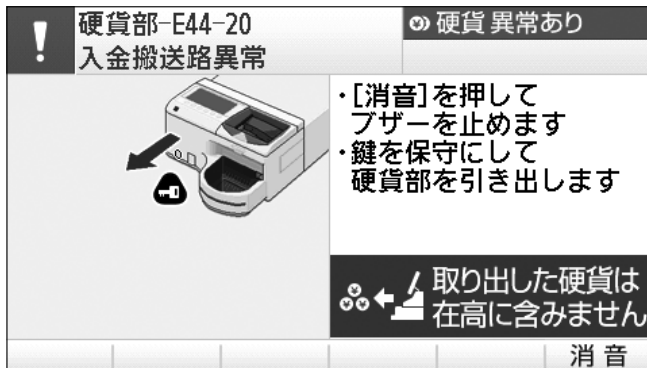


RAD-380 リセット待ち画面

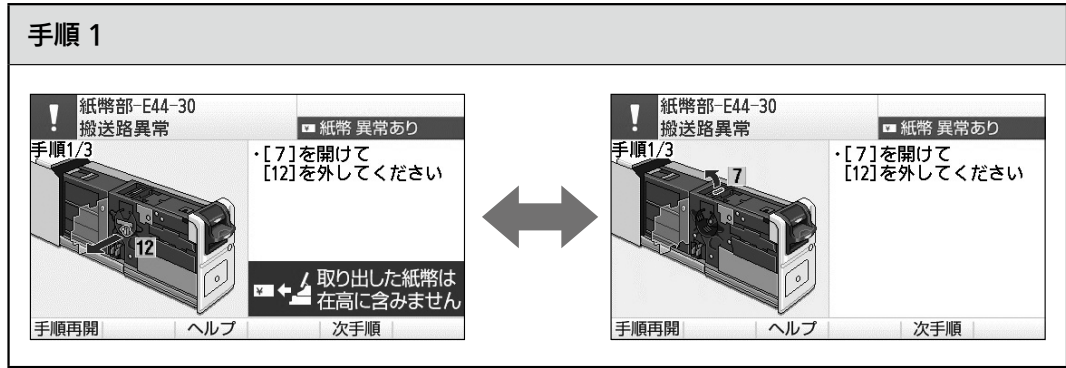


■ その他

- ・エラー発生時のブザーは [消音] を選択すると止まります。

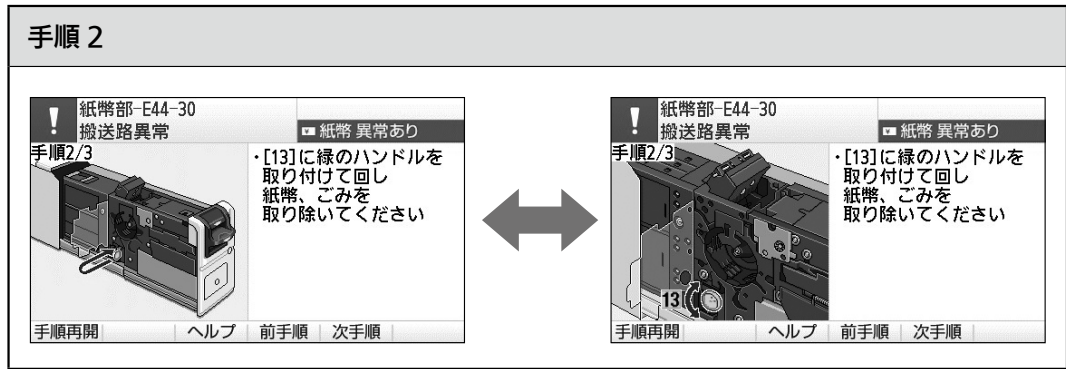


- ・エラー解除手順が複雑な場合、[手順停止] が表示されます。
[手順停止] を選択するとエラー解除画面を分割して見ることができます。
[手順再開] を選択すると通常に戻ります。



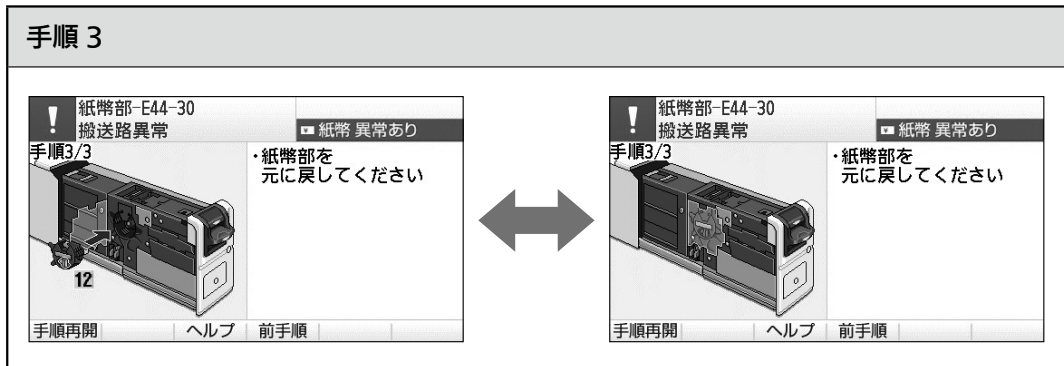
[次手順] を選択

[前手順] を選択



[次手順] を選択

[前手順] を選択



エラーが発生したら

困ったときは！

- [ヘルプ] を選択するとお金や異物の詳細な除去方法のガイダンスに切り替えることができます。

エラー解除ガイダンスどおりにエラー解除ができない場合、参照してください。

エラー解除画面



[ヘルプ] を選択



[解除画面] を選択

ヘルプ画面



参 照

- 紙幣が詰まったときは、[P.145](#) を参照してください。
- 紙片や異物などが取れないときは、[P.152](#) を参照してください。
- 収納庫出口付近の硬貨の取り除きかたについては、[P.156](#) を参照してください。

エラーが発生したら

困ったときは！

紙幣が詰まったときは



重要

以下の操作は、レジ現金の管理責任者の方が行われることを推奨します。

※以下の事項を必ず守ってください。

- ・搬送路に詰まった紙幣は取り除き、再挿入または別管理するなど、定められた運用に従ってください。
- ・取り除いた紙幣の傷みや汚れがひどく、金種の識別ができないような紙幣は再挿入せず、別管理してください。
- ・収納庫に手回しで送ったり、直接収納したりしないでください。
また、カセットへの直接収納もしないでください。在高不確定 (E59) の原因となります。

■ カセット部入口で紙幣が詰まったときは E31,E32,E44,E45,E48,E52,E62

1 エラー中に装置内部を引き出すと、カセットが外れます



参照

装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。



注意

カセットの前面が押さえられている場合、ロックが外れないことがあります。
カセットの前面を手などで押さえないでください。



紙幣が詰まったときは

困ったときは！

2 装置よりカセットを抜き取ります

⚠ 注意

カセットを取り扱うときは、十分気をつけてください。

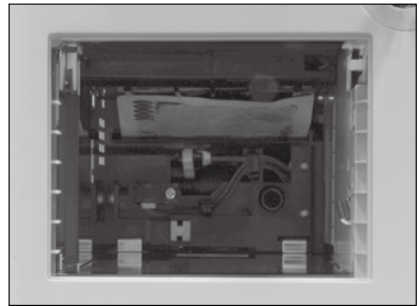
カセットを落とすと、ケガをしたりカセットが破損したりする恐れがあります。



3 詰まった紙幣を取り除きます

! 注意

紙片など、手で取り除きにくいものは、ピンセットなどを使って取り除いてください。

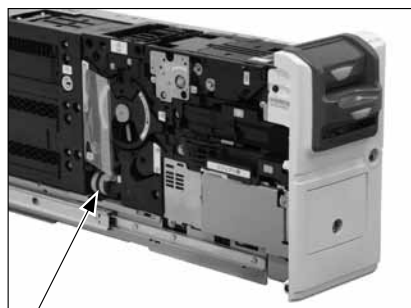


紙幣が詰まったときは

困ったときは！

■ 搬送部で紙幣が詰まったときは
E31,E32,E40,E44,E45,E48,E52,
E57,E62

1 取り外しガイドを外します



ハンドル

取り外しガイド



2 ハンドルをハンドル取り付け部⑬に取り付けます



3 搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦を開きます



紙幣が詰まったときは

困ったときは！

4 ハンドルを左右に回して紙幣を移動させ、搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦の開口部より取り除きます

※ 手順 1 ～ 4 でも取り除けないときは・・・
繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）③を開き、ハンドルをハンドル取り付け部⑥に取り付けて左右に回し、紙幣を移動させて、繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）③の開口部より取り除きます



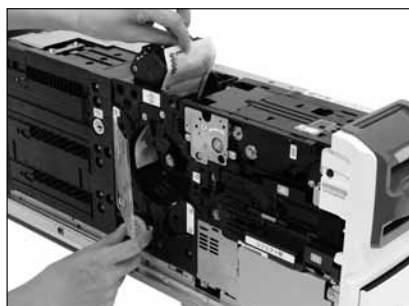
注意

使用したハンドルは必ず元に戻してください。



参照

上記手順で紙幣を取り除けない場合は、異物除去シートを使用し、取り除いてください。詳細は、[P.152](#)を参照してください。

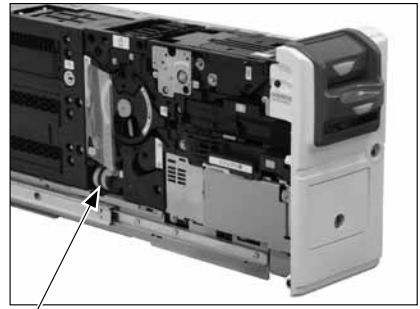


紙幣が詰まったときは

困ったときは！

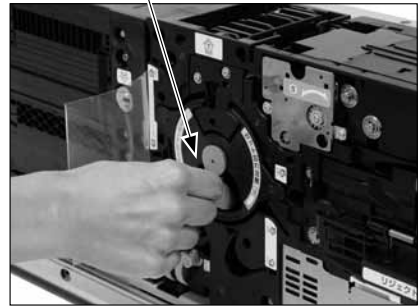
■ 収納庫で紙幣が詰まったときは
E31,E32,E44,E45,E48,E57,E62

1 取り外しガイドを外します



ハンドル

取り外しガイド



2 ハンドルをハンドル取り付け部⑬に取り付けます



3 搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦を開きます



紙幣が詰まったときは

困ったときは！

4 ハンドルを左右に回して紙幣を移動させ、搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦の開口部より取り除きます

※ 手順 1 ～ 4 でも取り除けないときは・・・

収納庫扉を開き、ハンドルをハンドル取り付け部⑱に取り付けて右図矢印方向に回し、紙幣を収納庫側に移動させ、取り除きます



重要

抜き取る紙幣は、エラー発生した 1 枚のみを抜き取ってください。複数枚抜き取った場合やエラー発生した紙幣を抜き取らなかった場合は在高不確定発生の原因となります。



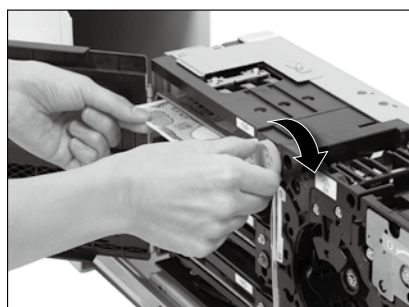
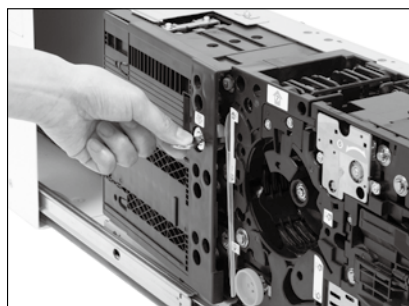
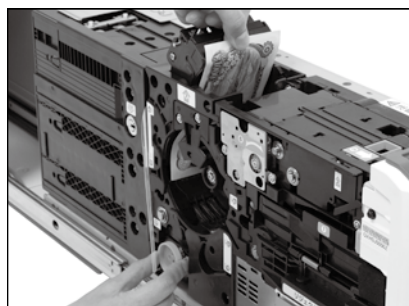
注意

使用したハンドルは必ず元に戻してください。



参照

上記手順で紙幣を取り除けない場合は、異物除去シートを使用し、取り除いてください。詳細は、[P.152](#) を参照してください。



紙幣が詰まったときは

困ったときは！

■ 挿入口で紙幣が詰まったときは
E41

1 ハンドルをハンドル取り付け部⑥に取り付けます



2 繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）
③を開きます



3 ハンドルを左右に回して紙幣を移動させ、繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）
③の開口部より取り除きます



注意

使用したハンドルは必ず元に戻してください。



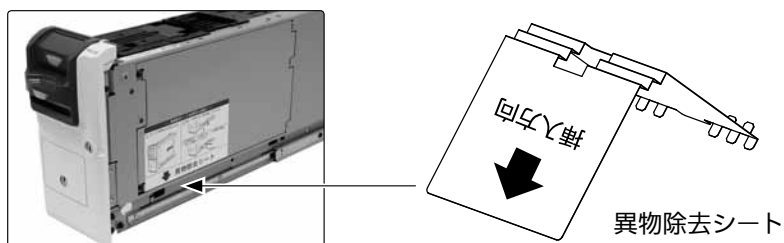
参照

上記手順で紙幣を取り除けない場合は、異物除去シートを使用し、取り除いてください。詳細は、[P.152](#)を参照してください。

紙片や異物などが取れないときは

「紙幣が詰まったときは」[P.145](#)～[P.151](#)の手順で、紙片や異物などが取り除けないときは、異物除去シートを使用してください。

以下の手順に従って、詰まった紙片などを取り除いてください。



1 装置内部を引き出します



参照

装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。

2 緑シール部を引いて扉を開き、異物除去シートを取り出します



紙片や異物などが取れないときは


困ったときは！

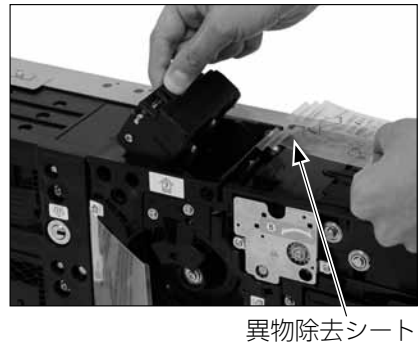
次ページへ ▶▶▶

3 取り外しガイドを外します



4 搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦の開口部より、異物除去シートを挿入します

 **注意** 異物除去シートは、矢印の方向に挿入してください。



5 ハンドルをハンドル取り付け部⑬に取り付けます



紙片や異物などが取れないときは

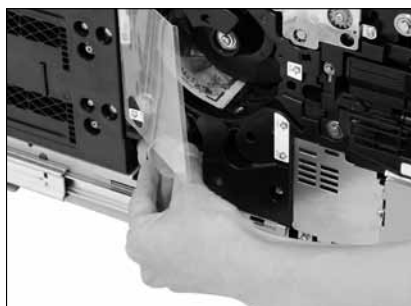
困ったときは！

6 ハンドルを回して、紙片や異物などのある位置まで異物除去シートを移動させます



注意

使用したハンドルは必ず元に戻してください。



7 異物除去シートにより押し出された紙片や異物などを、搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦の開口部より取り除きます



注意

- 使用した異物除去シートは必ず元に戻してください。
- 異物除去シートにより押し出せない紙片や異物などは付属のピンセットを使用して取り除いてください。



紙片や異物などが取れないときは

困ったときは！

詰まった紙幣の取り扱いについて

計数中に紙幣詰まりが発生した場合は、詰まっている位置により取り扱いが異なります。在高不確定発生（エラー E59）を防ぐために、搬送路の紙幣を以下の要領で取り扱ってください。

■搬送路に紙幣がないとき

下図.....線に紙幣の全体があるものは取り除かないでください。在高不確定の原因となります。

■搬送路に紙幣があるとき

紙幣の一部でも下図——線に掛かっている場合は、取り除いてください。



取り除いた紙幣は、再挿入または別管理するなど、定められた運用に従ってください。取り除いた紙幣の傷みや汚れがひどく、金種の識別ができないような紙幣の場合は、再挿入せず、別管理してください。

取り除く場所：

取り除かない場所：

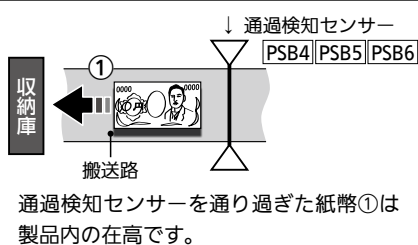
紙幣の位置：

詰まった紙幣の取り扱いについて

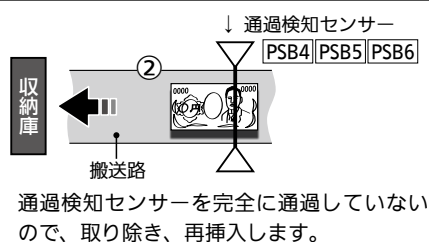
困ったときは！

搬送路・収納庫通過検知センサー [PSB4] [PSB5] [PSB6] 部、紙幣の位置 (①・②) により、取り扱いが異なります。
※端折れや集積不良の場合は正しく収納し直してください。

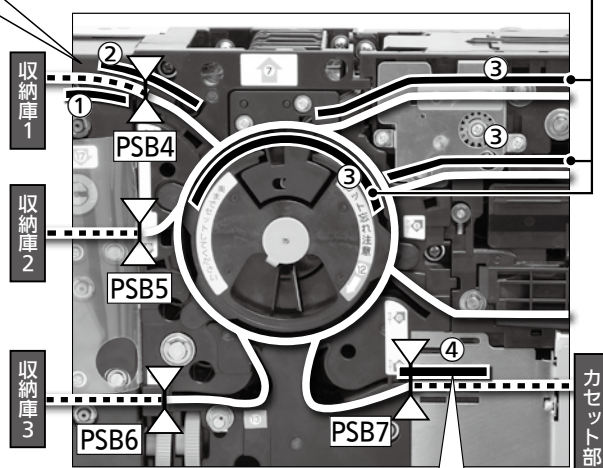
①ここに紙幣があるときは、取り除きません。



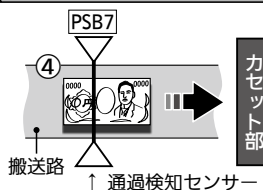
②ここに紙幣があるときは、取り除きます。



③ここに紙幣があるときは、取り除きます。搬送路の紙幣は、取り除きます。



④ここに紙幣があるときは、取り除きます。



搬送路・カセット部通過検知センサー [PSB7] を紙幣の一部でも通過させた紙幣④は取り除き、再挿入します。

収納庫出口付近の硬貨の取り除きかた

付属のピンセットと金属ヘラを使用し以下の手順に従って、収納庫出口付近の硬貨を取り除いてください。

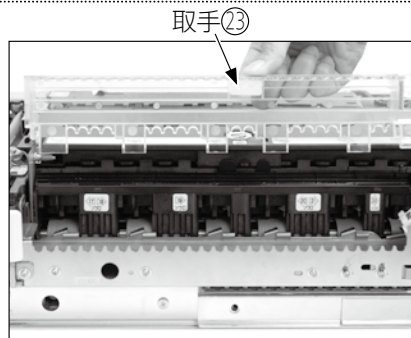
1 装置内部を引き出します



参 照

装置内部の引き出しかたについては、[P.33](#)を参照してください。

2 取手⑳を開きます



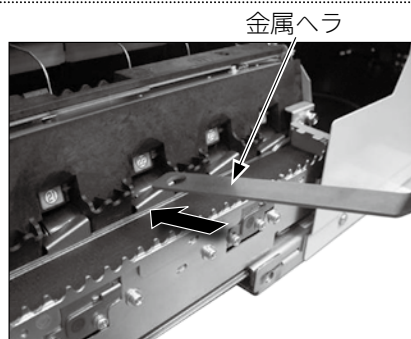
3 詰まった硬貨は付属の金属ヘラで収納庫へ押し込みます



注 意

金属ヘラの短手を使用して収納庫へ押し込まないでください。

出金繰り出し部を破損させる可能性があります。



収納庫出口付近の硬貨の取り除きかた

困ったときは！

次ページへ ▶▶▶

4 押し込むことができない場合は付属のピンセットを使い取り除きます



5 装置内部を閉じます



参照

装置内部の閉じかたについては、[P.34](#)を参照してください。

収納庫出口付近の硬貨の取り除きかた

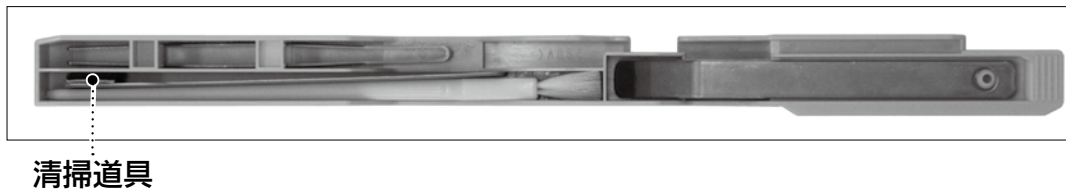
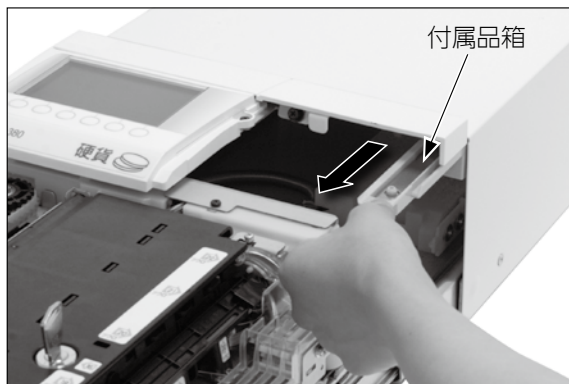
困ったときは！

RT-380 で E43 エラーが発生したときは

RT-380 で E43 エラーが発生し、清掃指示があったときは、エラー解除ガイダンス表示に従って、清掃をしてください。



清掃道具は、RT-380 の付属品箱に収納されています。



製品仕様 / RT-380

取扱金種	国内発行貨現行 6 金種 (500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円) ただし、変形硬貨および記念硬貨などの特殊硬貨は除く		
つり銭払い出し速度	999 円 / 約 2.7 秒 (最少構成枚数かつ、リトライなし)		
補充速度	約 6 枚 / 秒		
収納容量	投入口	約 50 枚 (100 円換算)	
	払い出し口	約 50 枚 (100 円換算)	
	収納部	500 円	約 105 枚
		100 円、10 円、1 円	約 160 枚
50 円、5 円		約 120 枚	
外形寸法	幅 260mm × 奥行 540mm × 高さ 130mm (突起部を除く)		
質量	本体部	約 22kg	
電源	定格電圧	AC100V ± 10%	
	定格電流 (注 最大値)	2.2A	
	周波数	50/60Hz	
	待機時消費電力 (50/60Hz)	20/20W (RT-380 と RAD-380 セット)	
	定格消費電力 (50/60Hz) (注 最大値)	140/140W (RT-380 と RAD-380 セット)	
	コンセント	JIS C8303 2 極接地極付コンセント 15A 125V	
	ケーブル長	2.8m	
外部接続	RS232C × 4、LAN × 1		
使用環境	温度	0°C ~ 35°C	
	湿度	20% ~ 90% (ただし、結露しないこと)	
	設置場所	屋内 (卓上)	

※本仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

製品仕様 / RAD-380

取扱金種	日本銀行券現行 4 金種 (1 万円、5 千円、2 千円、千円)	
つり銭払い出し速度	9000 円／約 2.7 秒 (最少構成枚数かつ、リトライなし)	
補充速度	約 2.5 枚／約 1 秒	
収納容量	挿入口	最大 20 枚
	払い出し口	10 枚
	カセット	200 枚
	リジェクト部	約 20 枚 (媒体により異なる)
	収納庫 1	200 枚 (千円固定)
	収納庫 2	100 枚 (5 千円固定)
	収納庫 3	100 枚 (1 万円固定)
外形寸法	本体部	幅 140mm × 奥行 540mm × 高さ 260mm (突起部を除く)
	電源部	幅 120mm × 奥行 190mm × 高さ 55mm
質量	本体部	約 19kg
	電源部	約 1.5kg
外部接続	RS232C × 1	
使用環境	温度	0℃～35℃
	湿度	20%～90% (ただし、結露しないこと)
	設置場所	屋内 (卓上)

※本仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

付属品一覧

保管の際は、高温多湿・直射日光を避けてください。

■ RT-380 / 標準添付品

モード切り替え鍵	2
収納部鍵	2
設置要領書	1
ピンセット	1
ハケ	1
金属ヘラ	1
転倒防止金具	1
コードクランプ	4
ネジ	7
清掃道具	1
コネクターカバー	1
付属品箱	1
保証書	1

※仕様により、付属品が一部異なる場合があります。

■ RAD-380 / 標準添付品

異物除去シート	1
転倒防止金具	1
コードクランプ	2
コネクターカバー	1
ネジ	5
硬貨つり銭機接続用通信ケーブル	1
設置要領書	1
綿棒（試供品）	2
電源部	1
取扱説明書（本書）	1

※仕様により、付属品が一部異なる場合があります。

廃棄についてのお願い

- この製品を廃棄される場合は、扉錠を破壊してください。
 - この製品は、通貨識別装置を搭載しています。
通貨識別装置の流出は、偽造通貨犯罪の主要な原因になります。
製品の買い替え、廃棄の際は、ユーザー各位にて破碎などの方法で識別機能を消滅させ、廃棄するようお願いします。
 - この製品は、リチウム電池を搭載しています。
廃棄時の危険を防止するために、リチウム電池の＋・－端子部を「セロハンテープ」などで絶縁し、所在する市町村の指示に従って廃棄してください。
- ※廃棄時の必要な処理ができない場合は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

保証書

本書は、本製品の保証書となります。

本製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしておりますが、万一製造上の不備による故障が発生した場合は、次の保証規定により修理いたします。

保証規定

- 保証期間中に、取扱説明書および製品に貼付された警告図記号のラベル等に基づく正常な使用状態で、万一故障した場合、その故障箇所のみの修理を無償でいたします。
- 保証期間中であっても、次の場合は有償による修理となります。
 - お客様の誤ったお取扱い、不当な修理、改造による故障および損傷。
 - ご購入後の輸送、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、およびその他の天災地変などによる故障および損傷。
 - 下のご購入年月日、ご住所、およびお客様名の欄が未記入の場合、または本保証書が改ざんされた場合、および本保証書が提示できない場合。

- 保証期間内に万一故障の場合は、必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- 本保証書は、再発行いたしません。大切に保存してください。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

型 式	RAD-380 シリーズ	機 番	
保証期間	6ヵ月間	ご購入年月日	西暦 年 月 日
ご住所			
お客様名	様		

GLORY

グローリー株式会社

兵庫県姫路市下手野1丁目3番1号 TEL 079(297)3131



RT-380/RAD-380

取扱説明書

初版日 2015年8月1日

版数 第3版

発行元 グローリー株式会社

● 保守サービス

*全国にまたがったグローリーのサービス網は、各部の部品を取りそろえ、サービスに万全を期しております。

*この製品の保守、操作についてのお問い合わせは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

なお、お問い合わせの場合は、表示ラベルに記載されている「型式名」「号機番号」をお知らせください。

表示ラベルは、製品の背面に貼ってあります。

GLORY



この紙面は、イワタ UD フォントを使用しています。
UD（ユニバーサルデザイン）とは、年齢・性別や、障害の有無に関係なくあらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるよう配慮されたデザインのことです。
イワタ UD フォントは、ユニバーサルデザインの視点で作られた文字フォントです。